

年間授業計画

三宅 高等学校 令和6年度（3学年用）教科 国語 科目 論理国語

教科：国語

科目：論理国語

単位数：2 単位

対象学年組：第3学年 N組～ F組

教科担当者：（N組：坂田）（F組：坂田）（組： ）（組： ）（組： ）（組： ）

使用教科書：（論理国語（大修館））

教科 国語

の目標：

【知識及び技能】 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

科目 論理国語

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付け、ことばに対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の国語の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
		語	文	読					
評論の基本的な読み方を復習する	オブジェとイメージ／人間の領域			○	【知識・技能】 対比などの文章構造を理解できている。 論理展開が明快な文章を読むことができる。 【思考・判断・表現】 筆者の主張をもとに、自分の考えを深め、表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 本文の内容について話し合い、話し合った内容を自分の言葉でまとめようとしている。	○	○	○	9
評論読解 I	評論解析			○	【知識・技能】 評論の基本的な読み方を理解できている。 【思考力・判断力・表現力】 内容や構成を的確に捉え、自分の考えを深めることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 複数の文章を比較し、自分の考えをまとめることができる。	○	○	○	5
定期考査						○	○		1
評論読解 II	市民社会化する家族／身体と出現			○	【知識・技能】 文章の効果的な組み立て方や接続のしかたについて理解することができる。 【思考・判断・表現】 内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論旨を把握することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 本文の内容を踏まえて、筆者の主張についての自分の考えをまとめることができる。	○	○	○	9
様々な文章を書く	知的創造のために／「書く」ことへの挑戦			○	【知識・技能】 情報収集の方法や注意事項について理解している。 【思考力・判断力・表現力】 様々な観点から情報を収集しようとしている。また収集した情報をもとに、自分の立場や論点を明確にして文章を書くことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 情報を収集し、新たな問いを設定して文章を書くことができる。	○	○	○	5
定期考査						○	○		1

1  
学期

2 学期	言葉について考える	言葉の〈意味〉と〈表象〉／霧の風景			<p>【知識・技能】 二項対立に注目した評論の読み方を理解している。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】 内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論旨を把握することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 本文の内容を踏まえて話し合い、筆者の主張についての自分の考えをまとめることができる。</p>	○	○	○	9
	評論読解Ⅲ	「貫之は下手な歌よみ」か？			<p>【知識・技能】 二項対立に注目した評論の読み方を理解している。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】 内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論旨を把握することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 本文の内容を適切に捉え、本文中の例について調べ、発表できている。</p>	○	○	○	5
	定期考査					○	○		1
	評論読解Ⅳ	ファンタジー・ワールドの誕生／日本文化私観			<p>【知識・技能】 文章の組み立て方や接続の仕方について理解している。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】 複数の文章を比較し、関連付けて文章を読解している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 本文の内容について話し合い、適切な具体例を挙げて論じることができる。</p>	○	○	○	9
	現代社会を読む	ポストモダンと排除社会		○	<p>【知識・技能】 文章の組み立て方や接続の仕方について理解している。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】 内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論旨を把握することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 作品に興味をもち、論理の展開や作者の主張を読み取ったうえで、自分の主張を適切に書くことができる。</p>	○	○	○	5
定期考査					○	○		1	
3 学期	評論読解Ⅴ	地図の想像力／真理の探究と民主主義			<p>【知識・技能】 文章の組み立て方や接続の仕方について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論旨を把握することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 筆者の主張を踏まえて、現代社会について考察し、発表することができる。</p>	○	○	○	9
	定期考査					○	○		1
									合計
									70

年間授業計画

三宅 高等学校 令和6年度（3学年用）教科

国語

科目 論理国語演習

教科：国語

科目：論理国語演習

単位数：2 単位

対象学年組：第3 学年 選択組～ 組

教科担当者：（選択組：廣見）（組：）（組：）（組：）（組：）（組：）

使用教科書：（論理国語（大修館））（副教材LT現代文3（浜島書店）読み解くための現代文単語（文英堂））

教科 国語

の目標：

- 【知識及び技能】 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

科目 論理国語演習

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付け、ことばに対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の国語の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
		語	書	読					
評論の基本的な読み方を学ぶ	遊びの効用／デジタル大航海時代／脳の機能と発達			○	【知識・技能】 対比などの文章構造を理解できている。 論理展開が明快な文章を読むことができる。 【思考・判断・表現】 筆者の主張をもとに、自分の考えを深め、表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 本文の内容について話し合い、話し合った内容を自分の言葉でまとめようとしている。	○	○	○	9
評論読解 I	新しい様式への発展／意識とは何か			○	【知識・技能】 評論の基本的な読み方を理解できている。 【思考力・判断力・表現力】 内容や構成を的確に捉え、自分の考えを深めることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 複数の文章を比較し、自分の考えをまとめることができる。	○	○	○	6
1 学期 評論読解 II	美術の生存を賭けた闘い／李白の詩と人生／場所に根差した建築			○	【知識・技能】 文章の効果的な組み立て方や接続のしかたについて理解することができる。 【思考・判断・表現】 内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論旨を把握することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 本文の内容を踏まえて、筆者の主張についての自分の考えをまとめることができる。	○	○	○	9
様々な文章特に要約文を書く	手作りの味／人工知能の核心／淡い喜び／山女日記			○	【知識・技能】 情報収集の方法や注意事項について理解している。 【思考力・判断力・表現力】 様々な観点から情報を収集しようとしている。また収集した情報をもとに、自分の立場や論点を明確にして文章を書くことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 情報を収集し、新たな問いを設定して文章を書くことができる。	○	○	○	7



高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 国語 科目 国語表現演習

教科： 国語 科目： 国語表現演習 単位数： 2 単位  
 対象学年組： 第 3 学年 組～ 組  
 教科担当者： (N組： 坂田 ) (F組： 坂田 ( 組： ) ( 組： ) ( 組： ) ( 組： ) )  
 使用教科書： ( 国語表現 (大修館) )

教科 国語 の目標：  
 【知識及び技能】 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。  
 【思考力、判断力、表現力等】 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合つ力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。  
 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身につけ、活用できるようになる。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようになる。	言葉がもつ価値への認識を深め、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や釈迦に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			話・聞	書	読					
1 学 期	伝える力を向上させる1	適切な文章表現や語句の使い方、話し言葉と書き言葉の違いに注目し、自身の考えを適切に書いて表現できるようになる。	○			ワークシート、提出物	○	○	○	7
	伝える力を向上させる2	適切な文章表現や語句の使い方、話し言葉と書き言葉の違いに注目し、自身の考えを適切に書いて表現できるようになる。		○			○	○	○	8
	小論文を書く	前の単元を踏まえ、資料等を活用しながら、自身の考えを筋道立てて論理的に表現できるようになる。			○	ワークシート、提出物	○	○	○	15
2 学 期	情報の収集と活用	自身の課題に対して、適切なメディアを選択し、複数の情報を比較しながら情報収集をすることができるようになる。			○	ワークシート、提出物	○	○	○	5
	プレゼンテーション①	聞き手を意識した話し方、プレゼンテーションの基礎について、実践的に学ぶ。		○		ワークシート、提出物	○	○	○	5
	プレゼンテーション②	自身の設定した主題に対して、聞き手にわかりやすく伝えることを意識してプレゼンテーションを行うことができるようになる。		○		ワークシート、提出物、プレゼンテーション	○	○	○	10
	プレゼンテーション③	感想や反省を生かしてプレゼンテーションを再構成することができるようになる。		○		ワークシート、提出物、プレゼンテーション	○	○	○	10
3 学 期	社会に出て求められる表現力について学ぶ	手紙やメールの書き方、電話のかけ方、メモの取り方などについて学び、実践できるようになる。	○	○		ワークシート、提出物	○	○	○	5
	様々な表現方法を知る	依頼や謝罪、アサーションなど、人間関係を円滑にするためのコミュニケーションについて学び、実践できるようになる。	○			ワークシート、提出物	○	○	○	5
合計										70

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 数学 科目 数学演習 I

教科： 数学 科目： 数学演習 I 単位数： 2 単位  
 対象学年組： 第 3 学年 F 組～ 組  
 教科担当者： （ F組： 高石 （ 組： ）  
 使用教科書： （ 最新数学 I ）

教科 数学 の目標：  
 【知識及び技能】基本的な公式、計算ができるようになる。  
 【思考力、判断力、表現力等】問題からどの公式を使うか、どのように計算していくか考えて問題を解けるようになる。  
 【学びに向かう力、人間性等】多くの問題が解けるように努力したり、他者とどのように問題を解いたのか共有することができるようにする。

科目 数学演習 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
受験に必要な数学の知識を身に着ける	入試で出題される融合問題などの応用問題を解ける	主体的に応用問題に取り組む姿勢を身に着ける

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	A 数と式 【知識及び技能】 数と式について理解し、問題を解くことができる 【思考力、判断力、表現力等】 不等式、不等式の性質、1次不等式を適切に使用することができる 【学びに向かう力、人間性等】 問題の解き方を他者に説明できる	多項式、多項式の加法・減法・乗法、展開の公式、式の展開の工夫、因数分解、いろいろな因数分解、実数、根号を含む式の計算、不等式、不等式の性質、1次不等式の解き方、連立不等式、不等式の利用	【知識・技能】 定期テスト、提出物 【思考・判断・表現】 定期テスト、提出物、発問 【主体的に学習に取り組む態度】 提出物、話し合いでの取り組み	○	○	○	5
	B 集合と命題 【知識及び技能】 集合と命題について理解し、問題を解くことができる 【思考力、判断力、表現力等】 公式を適切に使用することができる 【学びに向かう力、人間性等】 問題の解き方を他者に説明できる	集合と部分集合、共通部分・和集合・補集合、命題と集合、命題と証明	【知識・技能】 定期テスト、提出物 【思考・判断・表現】 定期テスト、提出物、発問 【主体的に学習に取り組む態度】 提出物、話し合いでの取り組み	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	C 二次関数 【知識及び技能】 二次関数について理解し、問題を解くことができる 【思考力、判断力、表現力等】 公式を適切に使用することができる 【学びに向かう力、人間性等】 問題の解き方を他者に説明できる	関数、関数とグラフ、2次関数の最大・最小、2次関数の決定、連立不等式、2次関数のグラフと軸の共有点、2次不等式、2次不等式の利用	【知識・技能】 定期テスト、提出物 【思考・判断・表現】 定期テスト、提出物、発問 【主体的に学習に取り組む態度】 提出物、話し合いでの取り組み	○	○	○	8
	D 図形と計量 【知識及び技能】 図形と計量について理解し、問題を解くことができる 【思考力、判断力、表現力等】 公式を適切に使用することができる 【学びに向かう力、人間性等】 問題の解き方を他者に説明できる	鋭角の三角比、三角比の利用、三角比の相互関係、三角比の拡張、三角比が与えられたときの角、正弦定理、余弦定理、三角形の面積	【知識・技能】 定期テスト、提出物 【思考・判断・表現】 定期テスト、提出物、発問 【主体的に学習に取り組む態度】 提出物、話し合いでの取り組み	○	○	○	7
定期考査			○	○		1	
2 学 期	入試演習 【知識及び技能】 入試問題を解くことができる 【思考力、判断力、表現力等】 公式を適切に使用することができる 【学びに向かう力、人間性等】 問題の解き方を他者に説明できる	入試問題	【知識・技能】 定期テスト、提出物 【思考・判断・表現】 定期テスト、提出物、発問 【主体的に学習に取り組む態度】 提出物、話し合いでの取り組み	○	○	○	28
	定期考査			○	○		1
3 学 期	入試演習 【知識及び技能】 入試問題を解くことができる 【思考力、判断力、表現力等】 公式を適切に使用することができる 【学びに向かう力、人間性等】 問題の解き方を他者に説明できる	入試問題	【知識・技能】 定期テスト、提出物 【思考・判断・表現】 定期テスト、提出物、発問 【主体的に学習に取り組む態度】 提出物、話し合いでの取り組み	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
							合計
							70

三宅高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 理科 科目 化学

教科：理科 科目：化学 単位数：4 単位

対象学年組：第3学年 F組

教科担当者：山下 恵理

使用教科書：（化学 東京書籍）

教科 理科 の目標：

【知識及び技能】自然現象に関する概念や原理・法則を理解し、探究に必要な技術を身に着ける。

【思考力、判断力、表現力等】自然現象に対して、見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に探究する能力を育む。

【学びに向かう力、人間性等】自然現象に主体的に関わり、課題を解決する態度など、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 化学 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
物質とその変化について理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身につける。	観察、実験などを行い、化学的に探究する力を養う。	物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学期	周期表と元素、非金属元素について、観察、実験などを通して、理解する。周期表と元素、非金属元素について、問題を見出し見通しをもつて観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。周期表と元素、非金属元素に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>元素の分類と周期表</li> <li>水素と希ガス</li> <li>ハロゲン</li> <li>酸素と硫黄</li> </ul>	<p>【知識・技能】 周期表と元素、非金属元素について、観察、実験などを通して、理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】 周期表と元素、非金属元素について、問題を見出し見通しをもつて観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 周期表と元素、非金属元素に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</p>	○	○	○	18
	定期考査			○	○		1
	窒素、リン、炭素、ケイ素について観察、実験などを通して、理解する。窒素、リン、炭素、ケイ素について、問題を見出し見通しをもつて観察、実験などを行い、科学的に考察し表現する。窒素、リン、炭素、ケイ素に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>窒素とリン</li> <li>炭素とケイ素</li> </ul>	<p>【知識・技能】 窒素、リン、炭素、ケイ素について観察、実験などを通して、理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】 窒素、リン、炭素、ケイ素について、問題を見出し見通しをもつて観察、実験などを行い、科学的に考察し表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 窒素、リン、炭素、ケイ素に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</p>	○	○	○	18
	典型金属元素、遷移金属元素についての観察、実験などを通して、理解する。典型金属元素、遷移金属元素について、問題を見出し見通しをもつて観察、実験を行い、科学的に考察し表現する。典型金属元素、遷移金属元素に関する事物・現象に主体的に関わる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>アルカリ金属と2族元素</li> <li>アルミニウム、亜鉛、スズ、鉛</li> <li>鉄、銅、銀、金</li> <li>クロム、マンガン</li> <li>金属イオンの分離</li> </ul>	<p>【知識・技能】 典型金属元素、遷移金属元素についての観察、実験などを通して、理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】 典型金属元素、遷移金属元素について、問題を見出し見通しをもつて観察、実験を行い、科学的に考察し表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 典型金属元素、遷移金属元素に関する事物・現象に主体的に関わる。</p>	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
2 学期	飽和炭化水素、不飽和炭化水素についての観察、実験などを通して、理解する。飽和炭化水素、不飽和炭化水素について、問題を見出し見通しをもつて観察、実験を行い、科学的に考察し表現する。飽和炭化水素、不飽和炭化水素に関する事物・現象に主体的に関わる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>飽和炭化水素</li> <li>不飽和炭化水素</li> </ul>	<p>【知識・技能】 飽和炭化水素、不飽和炭化水素についての観察、実験などを通して、理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】 飽和炭化水素、不飽和炭化水素について、問題を見出し見通しをもつて観察、実験を行い、科学的に考察し表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 飽和炭化水素、不飽和炭化水素に関する事物・現象に主体的に関わる。</p>	○	○	○	26
	定期考査			○	○		1
	アルコールと関連化合物についての観察、実験などを通して、理解する。アルコールと関連化合物について、問題を見出し見通しをもつて観察、実験を行い、科学的に考察し表現する。アルコールと関連化合物に関する事物・現象に主体的に関わる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>アルコールとエーテル</li> <li>アルデヒドとケトン、エステル</li> <li>芳香族炭化水素</li> <li>フェノール類</li> </ul>	<p>【知識・技能】 アルコールと関連化合物についての観察、実験などを通して、理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】 アルコールと関連化合物について、問題を見出し見通しをもつて観察、実験を行い、科学的に考察し表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 アルコールと関連化合物に関する事物・現象に主体的に関わる。</p>	○	○	○	7

	<p>芳香族化合物と高分子化合物についての観察、実験などを通して、理解する。 芳香族化合物と高分子化合物について、問題を見出し見通しを持って観察、実験を行い、科学的に考察し表現する。 芳香族化合物と高分子化合物に関する事物・現象に主体的に関わる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>芳香族カルボン酸</li> <li>芳香族アミン、アゾ化合物</li> <li>有機化合物の分離</li> <li>高分子化合物の構造と性質</li> </ul>	<p>【知識・技能】 芳香族化合物と高分子化合物についての観察、実験などを通して、理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】 芳香族化合物と高分子化合物について、問題を見出し見通しを持って観察、実験を行い、科学的に考察し表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 芳香族化合物と高分子化合物に関する事物・現象に主体的に関わる。</p>	○	○	○	20
	定期考査			○	○		1
3 学 期	<p>高分子化合物について、化学的な側面から理解させる。 高分子化合物について、問題を見出し、科学的に考察し表現する。 高分子化合物に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>天然高分子化合物</li> <li>合成高分子化合物</li> </ul>	<p>【知識・技能】 高分子化合物について、化学的な側面から理解させる。</p> <p>【思考・判断・表現】 高分子化合物について、問題を見出し、科学的に考察し表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 高分子化合物に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</p>	○	○	○	34
	定期考査			○	○		1
					○	○	合計

【知識及び技能】自然現象に関する概念や原理・法則を理解し、探究に必要な技術を身に着ける。

【思考力、判断力、表現力等】自然現象に対して、見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に探究する能力を育む。

【学びに向かう力、人間性等】自然現象に主体的に関わり、課題を解決する態度など、科学的に探究しようとする態度を養う。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
物質とその変化について理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身につける。	観察、実験などを行い、化学的に探究する力を養う。	物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	1章1節物質の分離や精製方法について、元素の確認、状態変化などについて理解させる。また、実験に必要な技能を身に付けさせる。物質三態の違いおよび熱運動にkについて理解させる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>純物質と混合物の性質</li> <li>混合物の分離と精製</li> <li>単体と化合物</li> <li>単体と元素</li> <li>同素体</li> <li>元素の確認</li> <li>物質の三態と状態変化</li> <li>熱運動と温度</li> </ul>	<b>【知識・技能】</b> 物質の分離・精製や元素の確認、状態変化などについて理解するとともに、実験の技能と物質を探究する方法を身に付けている。 <b>【思考・判断・表現】</b> 物質の分離・精製や元素の確認、状態変化などの観察、実験を行い、科学的に探究する力を身に付けている。 <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> 物質の分離・精製や元素の確認、状態変化などに主体的に関わり、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	1章2節原子の構造、物質の構成粒子について理解させる。原子の電子配置から、イオンへの変化について理解させる。周期表を書くことで、性質の類似点を理解させる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>原子</li> <li>原子番号</li> <li>同位体</li> <li>電子配置</li> <li>イオンの生成</li> <li>周期表</li> <li>イオン化エネルギー</li> </ul>	<b>【知識・技能】</b> 物質の構成粒子について理解するとともに、実験の技能と物質を探究する方法を身に付けている。 <b>【思考・判断・表現】</b> 物質の構成についての観察、実験を行い、物質の構成における規則性や関係性を見いだして表現できる。 <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> 物質の構成などに主体的に関わり、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	3章力学的エネルギーについての観察、実験などを通して、運動エネルギーと位置エネルギー、力学的エネルギーの保存について理解する。力学的エネルギーについて、問題を見出し見通しを持って観察、実験を行い、科学的に考察し表現する。力学的エネルギーに関する事物・現象に主体的に関わる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>仕事</li> <li>仕事率</li> <li>運動エネルギー</li> <li>位置エネルギー</li> <li>保存力</li> <li>保存力以外の力</li> </ul>	<b>【知識・技能】</b> 力学的エネルギーについての観察、実験などを通して、運動エネルギーと位置エネルギー、力学的エネルギーの保存について理解する。 <b>【思考・判断・表現】</b> 力学的エネルギーについて、問題を見出し見通しを持って観察、実験を行い、科学的に考察し表現する。 <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> 力学的エネルギーに関する事物・現象に主体的に関わる。	○	○	○	6
	2章1節イオン結合について、陽イオンと陰イオンがクーロン力で結びついた結合であることを、電子配置と関連付けて理解させる。様々なイオン結晶が存在し、その性質について、日常生活と関連付けながら探究させる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>イオン結合</li> <li>イオン結晶の組成式と書き方</li> <li>イオン結晶の融点</li> <li>イオン結晶の電気伝導性</li> <li>電解質と非電解質</li> <li>イオン結晶の利用</li> </ul>	<b>【知識・技能】</b> イオンの生成を電子配置と関連付けて理解するとともに、実験の技能と物質を探究する方法を身に付けている。 <b>【思考・判断・表現】</b> イオンやイオン結合の性質についての観察、実験を行い、科学的に探究する力を身に付けている。 <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> イオンやイオン結合などに主体的に関わり、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1



高等学校 令和6年度(3学年用) 教科

理科

科目 生物基礎演習

教科: 理科

科目: 生物基礎演習

単位数:

単位 2

対象学年組: 第3学年 NK組~ F組

教科担当者: 加藤千鶴

使用教科書: ( 高校生物基礎 実教出版 )

教科 理科

の目標:

【知識及び技能】自然現象に関する概念や原理・法則を理解し、探究に必要な技術を身に着ける。

【思考力、判断力、表現力等】自然現象に対して、見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に探究する能力を育む。

【学びに向かう力、人間性等】自然現象に主体的に関わり、課題を解決する態度など、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 生物基礎演習

の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生物や生物現象についての観察、実験などを行うことで生物や生物現象に関する基本的な概念や原理・法則を理解するとともに科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技を身に付ける。	生物現象から、探究の過程を通して観察、情報収集、仮説設定、実験計画、検証、調査、データの分析・解釈、推論などの探究の方法が習得する。また、報告書を作成したり発表したりして、科学的に探究する力を育む。	生物現象に主体的に関わり、気付きから課題を設定し解決しようとする態度など、科学的に探究しようとする態度を養う。また、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態			配当 時数
1 学 期	1章1節 生物の共通性・多様性について、進化と関連付けて理解させる。原核細胞・真核細胞について学習し、構造や働きについて理解させる。細胞小器官の名称と特徴を理解させる。細胞の観察実験を通して、生物の構造や違いについて探究し、理解しようとする力を養う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>生物の共通性</li> <li>生物の分類</li> <li>生物の進化と共通性・多様性</li> <li>様々な細胞</li> <li>単細胞生物と多細胞生物</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> 原核細胞と真核細胞の違いについて理解している。試料を光学顕微鏡で観察する技術を習得している。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
	1章2節 代謝には同化と異化があり、ATPを利用して行われることを理解させる。生体触媒である酵素を上げ、その働きと気質特異性について理解させる。また、酵素カタラーゼの実験を行うことで、酵素の働きや基質との関係について、科学的に探究させていく。光合成と呼吸の仕組みやATPとの関係について理解させる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>生命活動とエネルギー</li> <li>代謝</li> <li>酵素の働き</li> <li>光合成と葉緑体</li> <li>呼吸とミトコンドリア</li> <li>光合成と呼吸の比較</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> 生命活動に必要なエネルギーを、呼吸や光合成から得ていることを理解している。生体内で行われる化学反応は、酵素が触媒していることを理解している。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
2 学 期	2章1節 染色体とDNA、遺伝子の違いについて理解させる。また、DNAの構造から、DNAの複製の仕組みについて理解させる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>遺伝子とDNA</li> <li>遺伝子の構造</li> <li>細胞周期</li> <li>DNAの複製</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> DNAが二重らせん構造であり、2本鎖の塩基配列は相補的であることを理解している。生物の組織からDNAを抽出する技術を習得している。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
	2章2節 生物のからだは様々なタンパク質から構成されており、そのタンパク質はアミノ酸からできていることを理解させる。DNAとRNAを比較することで違いに気づき、タンパク質合成の流れである転写・翻訳との関係について理解させる。ゲノムと遺伝子の関係について理解させる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>生体とタンパク質</li> <li>遺伝子とタンパク質</li> <li>DNAとRNA</li> <li>セントラルドグマ</li> <li>遺伝子の発現とタンパク質</li> <li>遺伝情報とゲノム</li> <li>ゲノムと遺伝子</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> 遺伝子の発現について理解し、細胞ごとに特定の遺伝子が発現することを理解している。試料の採取、染色などを行い、光学顕微鏡で観察する技術を習得している。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1

2 学 期	3章1節 体内環境の役割および、一定の範囲に調節されていること(恒常性)について理解させる。血液の成分や働き、血液凝固について理解させる。 肝臓と腎臓の役割について学習し、体液の調節を行っていることを理解させる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生物と環境</li> <li>・恒常性</li> <li>・体液の種類</li> <li>・血液凝固</li> <li>・肝臓による調節</li> <li>・腎臓による調節</li> </ul>	<p>【知識・技能】 体内環境が一定の範囲に保たれることとその意味を理解している。 肝臓による物質の合成・分解などのしくみや、腎臓での塩類濃度の調節を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 腎臓の働きについて体系的に理解し、ろ過・再吸収のしくみを説明することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 肝臓や腎臓の機能を理解し、人体についての理解を深めようとする。</p>	○	○	○	7
	3章2節 体内環境の維持と自律神経系、ホルモンとの関係について理解させる。 血糖濃度の調節やインスリンとの関係について、グラフを正確に読み取らせ、理解を深める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・心拍数と呼吸数の変化について</li> <li>・情報の伝達</li> <li>・自律神経系</li> <li>・内分泌腺とホルモン</li> <li>・内分泌系の調節</li> <li>・血糖濃度の調節</li> </ul>	<p>【知識・技能】 ホルモンの分泌により血糖濃度が保たれることを理解している。 実験により得られたデータを比較・分析することにより、結論を導き出すことができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 血糖濃度調節のしくみを、ホルモンと自律神経系の両方の働きから説明できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 資料に基づいて、ヒトの血糖濃度が調節されるしくみを見出し、理解しようとする。</p>	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
	3章3節 生体防御の概要について理解させる。免疫にかかわる細胞や器官について理解する。 自然免疫や食作用、細胞性免疫や体液性免疫のシステムの流れについて理解させる。 記憶細胞による予防接種や免疫機能過敏によるアレルギー、免疫不全について正確に理解させる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生体防御の免疫</li> <li>・物理・化学的防御</li> <li>・食作用</li> <li>・細胞性免疫</li> <li>・体液性免疫</li> <li>・二次応答</li> <li>・免疫機能の過敏</li> <li>・免疫機能の利用</li> </ul>	<p>【知識・技能】 免疫の医療への応用やヒトの免疫疾患について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 病原体を認識・排除する機構のしくみを体系的に考察し、表現することができる。 ヒトの免疫疾患について、身近な例をもとに説明することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 免疫について、身近な現象と絡めて理解しようとする。</p>	○	○	○	7
4章1節 生物と環境の関係や生態系の成り立ちについて正確に理解させる。 植生について学習し、様々な要因によって影響を受けることを理解させる。一次遷移・二次遷移について学習し、三宅島の土地と照らし合わせ、遷移について具体的に探究させていく。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生物と環境</li> <li>・植生</li> <li>・陽性植物・陰性植物</li> <li>・植生の遷移</li> <li>・森林の更新</li> </ul>	<p>【知識・技能】 陸上には、森林・草原・砂漠などの多くの植生がみられ、植物をとり巻く環境や構成種により植生が変わっていくことを理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 植生の遷移が、光環境や土壌の変化によってどのように進むかを説明できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 資料に基づいて、植生が変化する要因を見出し、その要因が植生にどのように影響するかを理解しようとする。</p>	○	○	○	5	

3 学 期	4章2節 世界のバイオームの分布と気象条件の関係を理解させる。日本のバイオームの特徴について理解させる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バイオームとその要因</li> <li>・世界各地のバイオーム</li> <li>・水平分布</li> <li>・垂直分布</li> </ul>	<p>【知識・技能】 地球上には、気温や降水量ごとにさまざまなバイオームが成立していることを理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 気温や降水量によって成立するバイオームが異なるのは、バイオームを構成する植物種がその場所の気温や降水量に適応しているためであると考察し、それを表現することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 地球上にはさまざまなバイオームが成立していることを理解しようとする。</p>	○	○	○	4
	4章3節 生態系には多様な生物種が存在し、その生物同士の関係性について理解させる。ペインの実験を調べ、キーストーン種を取り除くことで起こる現象について、探究させていく。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土壌動物の観察</li> <li>・種の多様性</li> <li>・生態系内の生物のかかわり</li> <li>・間接効果とキーストーン種</li> </ul>	<p>【知識・技能】 捕食によって物質とエネルギーが移動することを理解している。 野外で行う調査・実験の方法を習得している。</p> <p>【思考・判断・表現】 生物の多様性を食物網や間接効果と関連付けて説明できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 生物が多様であることを、食物網や間接効果と関連付けて説明できる。</p>	○	○	○	4
	4章4節 生態系が一定のバランスから成り立っていること、また人間の生活が影響を与えていることを調べ、具体的に理解させていく。 どのような活動がバランスに影響を与えているか、考えさせていく。 生態系の保全の必要性について理解させる。自然環境の保全に資する定期調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生態系のバランスの維持</li> <li>・水質への影響</li> <li>・森林の破壊</li> <li>・生態系の保全と重要性</li> </ul>	<p>【知識・技能】 生態系のバランスや、生態系の保全の重要性について理解している。 インターネットや文献などを用いて、調査する方法を習得している。</p> <p>【思考・判断・表現】 世界の環境問題について、情報を調査し、自分の考えをまとめ、表現することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 生態系のバランスや、生態系を保全すること</p>	○	○	○	4
				○	○		1 合計 70

高等学校 令和6年度(3学年用) 教科 保健体育 科目 体育

教科: 保健体育 科目: 体育 単位数: 3 単位  
 対象学年組: 第 3 学年 普通科・併合科  
 教科担当者: 高松 百合香 小高 海穂  
 使用教科書: ( 新高等 保健体育 大修館書店 )  
 教科 保健体育 の目標:

- 【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自己や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 体育 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付ける。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
○体を動かす楽しさや心地よさを味わい、体づくり運動の行い方、体力の構成要素、実生活への取り入れ方などを理解するとともに、自己の体力や生活に応じた継続的な運動の計画を立て、実生活に役立てることができるようにする。 ○生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 ○主体的に取り組むとともに、互いに助け合い高め合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとし、合意形成に貢献しようとするなどや、健康・安全を確保することができるようにする。	体づくり運動 ア 体ほぐしの運動 イ 実生活に活かす運動の計画	○体づくり運動では、自己のねらいに応じて、効果的な成果を得るための適切な運動の行い方があることを言ったり書き出したりしている。リズムに乗って心が弾むような運動を行うことを通して、気付いたり関わり合ったりすることができる。体調の維持などの健康の保持増進をねらいとして、各種の有酸素運動や体操などの施設や器具を用いず手軽に行う運動例や適切な食事や睡眠の管理の仕方を取り入れて、卒業後も継続可能な手軽な運動の計画を立てて取り組むことができる。 ○生活様式や体力の程度を踏まえ、自己のねらいに応じた運動の計画を立案し、他者に伝えている。 ○体づくり運動の学習に主体的に取り組もうとしている。仲間に課題を伝え合うなど、互いに助け合い高め合おうとしている。	○	○	○	10
○技がよりよくできたり自己や仲間の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、発表の仕方などを理解するとともに、自己に適した技で演技することができるようにする。 ○生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 ○器械運動に主体的に取り組むとともに、よい演技を讃めたえようとし、互いに助け合い高め合おうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとし、健康・安全を確保することができるようにする。	器械運動 ア マット運動 エ 跳び箱運動	○自己の能力に応じた技で組み合わせたり、異なる技群で構成したりするなどの発表に向けた演技構成の仕方があることについて、言ったり書き出したりしている。発表会や競技会で、演技構成の仕方、運営の仕方や役割に応じた行動の仕方、全員が楽しむためのルール等の調整の仕方などがあることについて、学習した具体例を挙げている。 ○選択した技の行い方や技の組合せ方について、自己や仲間の動きを分析して、良い点や修正点を指摘している。体力や技能の程度、性別等の違いを超えて、仲間とともに器械運動を楽しむための調整の仕方を見つけている。器械運動の学習成果を踏まえ、自己に適した「する、みる、支える、知る」などの運動を生涯にわたって楽しむための関わり方を見つけている。 ○自己や仲間の課題に応じた練習計画を見直すなど、互いに助け合い高め合おうとしている。一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。危険の予測をしながら回避行動をとるなど、健康・安全を確保している。	○	○	○	15
○勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができるようにする。 ○生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。 ○主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとし、合意形成に貢献しようとし、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとし、互いに助け合い高め合おうとし、健康・安全を確保することができるようにする。	球技 ・ネット型(テニス)	○局面ごとに技術や戦術、作戦の名称があり、それぞれの技術、戦術、作戦には、攻防の向上につながる重要な動きのポイントや安全で合理的、計画的な練習の方法があることを言ったり書き出したりしている。サーブでは、ボールに変化をつけて打つことができる。変化のあるサーブに対応して、面を合わせてレシーブすることができる。ラリーの中で、相手の攻撃や味方の移動で生じる空間をカバーして、守備のバランスを維持する動きをすることができる。 ○課題解決の過程を踏まえて、チームや自己の新たな課題を発見し、仲間に伝えている。練習やゲームを行う場面で、チームや自己の活動を振り返り、よりよいマナーや行為について仲間に提案している。 ○仲間の課題を指摘するなど、互いに助け合い高め合おうとしている。	○	○	○	16

<p>○記録の向上や競争及び自己や仲間の課題を解決するなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、自己に適した泳法の効率を高めて泳ぐことができるようにする。</p> <p>○生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。</p> <p>○水泳に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保することができるようにする。</p>	<p>水泳 ア クロール イ 平泳ぎ ウ 背泳ぎ エ バタフライ</p>	<p>○水泳では、各種目や運動の局面ごとに技術の名称があり、それぞれの技術には、効率のよい泳ぎにつながる重要な動きのポイントや安全で合理的、計画的な練習の仕方があることを言ったり、書いたりしている。肘を曲げて腕全体で水をとらえ、加速するようにかくことができる。(クロール) フルのかき終わりと同時に、顎を引いて口を水面上に出して息を吸い、キックの蹴り終わりに合わせて、流線型の姿勢を維持して大きく伸びることができる。(平泳ぎ) 水平姿勢を維持しながら泳ぐことができる。(背泳ぎ) 体のうねり動作に合わせたしなやかなドルフィンキックをすることができる。(バタフライ)</p> <p>○課題解決の過程を踏まえて、自己や仲間の新たな課題を発見し、仲間に伝えている。</p> <p>○水泳の学習に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>○水泳の事故防止の心得を遵守し、危険の予測をしながら回避行動をとるなど、健康・安全を確保しようとしている。</p>	○	○	○	16
<p>○勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができるようにする。</p> <p>○生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。</p> <p>○主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、合意形成に貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い高め合おうとするなどや、健康・安全を確保することができるようにする。</p>	<p>球技 ・ベースボール型(ソフトボール)</p>	<p>○局面ごとに技術や戦術、作戦の名称があり、それぞれの技術、戦術、作戦には、攻防の向上につながる重要な動きのポイントや安全で合理的、計画的な練習の方法があることを言ったり書き出したりしている。守備スペースが空いた方向をねらってボールを打ち返すことができる。仲間の走者の動きに合わせて、塁を進んだり戻ったりすること。仲間の送球に対して次の送球をしやすいうようにボールを受けることができる。打者の特徴や走者の位置に応じた守備位置に立つことができる。</p> <p>○課題解決の過程を踏まえて、チームや自己の新たな課題を発見し、仲間に伝えている。練習やゲームを行う場面で、チームや自己の活動を振り返り、よりよいマナーや行為について仲間に提案している。</p> <p>○仲間の課題を指摘するなど、互いに助け合い高め合おうとしている。</p>	○	○	○	15
<p>2 学期</p> <p>○記録の向上や競争及び自己や仲間の課題を解決するなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けることができるようにする。</p> <p>○ペースの変化に対応して走ることができるようにする。</p> <p>○生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。</p> <p>○主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保することができるようにする。</p>	<p>陸上競技 ア 長距離走</p>	<p>○陸上競技では、各種目の局面ごとに技術の名称があり、それぞれの技術には、記録の向上につながる重要な動きのポイントや安全で合理的な練習の仕方があることを言ったり書き出したりしている。自分で設定したペースの変化や仲間のペースに応じて、ストライドやピッチを切り替えて走ることができる。</p> <p>○課題解決の過程を踏まえて、自己や仲間の新たな課題を発見し、仲間に伝えている。</p> <p>○陸上競技の学習に主体的に取り組もうとしている。一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。</p>	○	○	○	15

3 学 期	<p>○豊かなスポーツライフの設計の仕方について理解することができるようにする。</p> <p>○豊かなスポーツライフの設計の仕方について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えることができるようにする。</p> <p>○豊かなスポーツライフの設計の仕方についての学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	<p>体育理論 (ア) ライフステージにおけるスポーツの楽しみ方 (イ) ライフスタイルに応じたスポーツとの関わり方 (ウ) スポーツ推進のための施策と諸条件 (エ) 豊かなスポーツライフが広がる未来の社会</p>	<p>○スポーツは、各ライフステージにおける身体的、心理的、社会的特徴に応じた多様な楽しみ方があること。また、その楽しみ方は、個人のスポーツに対する欲求などによっても変化することを言ったり書き出したりしている。生涯にわたってスポーツを継続するためには、ライフスタイルに応じたスポーツとの関わり方を見付けること、仕事と生活の調和を図ること、運動の機会を生み出す工夫をすることなどが必要であることを言ったり、書き出したりしている。スポーツの推進は、様々な施策や組織、人々の支援や参画によって支えられていることを言ったり書き出したりしている。人生に潤いをもたらす貴重な文化的資源として、スポーツを未来に継承するためには、スポーツの可能性と問題点を踏まえて適切な「する、みる、支える、知る」などの関わりが求められることを言ったり、書き出したりしている。</p> <p>○ライフステージにおけるスポーツの楽しみ方やライフスタイルに応じたスポーツとの関わり方について、自己や自己を取り巻く環境の変化を予想し、自己や社会についての課題を発見し、他者へ伝えようとしている。豊かなスポーツライフが広がる未来の社会について、これまで学習したことを基に、将来の自己のスポーツ設計や未来の社会についての自己の提案を言葉や文章などを通して他者に伝えようとしている。</p> <p>○豊かなスポーツライフの設計の仕方についての学習に、主体的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	6
	<p>○勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができるようにする。</p> <p>○生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。</p> <p>○主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、合意形成に貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い高め合おうとするなどや、健康・安全を確保することができるようにする。</p>	<p>球技 ・ネット型（卓球）</p>	<p>○局面ごとに技術や戦術、作戦の名称があり、それぞれの技術、戦術、作戦には、攻防の向上につながる重要な動きのポイントや安全で合理的、計画的な練習の方法があることを言ったり書き出したりしている。サーブでは、ボールに変化をつけて打つことができる。変化のあるサーブに対応して、面を合わせてレシーブすることができる。ラリーの中で、相手の攻撃や味方の移動で生じる空間をカバーして、守備のバランスを維持する動きをすることができる。</p> <p>○課題解決の過程を踏まえて、チームや自己の新たな課題を発見し、仲間に伝えている。</p> <p>・練習やゲームを行う場面で、チームや自己の活動を振り返り、よりよいマナーや行為について仲間に提案している。</p> <p>○仲間の課題を指摘するなど、互いに助け合い高め合おうとしている。</p>	○	○	○	12
合計							105

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科

保健体育 科目 体育演習（選択科目）

教科：保健体育 科目：体育演習（選択科目）

単位数：2 単位

対象学年組：第3学年

教科担当者：高松 百合香 小高 海穂

使用教科書：（新高等 保健体育 大修館書店）

教科 保健体育 の目標：

【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自己や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 体育演習（選択科目） の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにする。運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付ける。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組み、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>○技がよりよくできたり自己や仲間の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、発表の仕方などを理解するとともに、自己に適した技で演技することができるようにする。</p> <p>○回転系や巧技系の基本的な技を滑らかに安定して行うこと、条件を変えた技や発展技を行うこと及びそれらを構成し演技することができるようにする。</p> <p>○生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。</p> <p>○器械運動に主体的に取り組みとともに、よい演技を讃めたえようとする、互いに助け合い高め合おうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保することができるようにする。</p>	<p>器械運動</p> <p>ア マット運動</p> <p>エ 跳び箱運動</p>	<p>○器械運動では、技の系、技群、グループの系統性の名称があり、それぞれの技には、技能の向上につながる重要な動きのポイントや安全で合理的、計画的な練習の仕方があることを言ったり、書き出したりしている。</p> <p>○新たに学習する基本的な技の一連の動きを滑らかに安定させて回転させることができる。</p> <p>○選択した技の行い方や技の組合せ方について、自己や仲間の動きを分析して、良い点や修正点を指摘している。</p> <p>○自己の状況にかかわらず、よい演技を讃えようとしている。</p>	○	○	○	9
<p>○感じを込めて踊ったり仲間と自由に踊ったり、自己や仲間の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、ダンスの名称や用語、文化的背景と表現の仕方、交流や発表の仕方、課題解決の方法、体力の高め方などを理解するとともに、それぞれ特有の表現や踊りを身に付けて交流や発表をすることができるようにする。</p> <p>○現代的なリズムのダンスでは、リズムの特徴を強調して全身で自由に踊ったり、変化とまとまりを付けて仲間と対応したりして踊ることができるようにする。</p> <p>○生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。</p> <p>○ダンスに主体的に取り組みとともに、互いに共感し高め合おうとすること、合意形成に貢献しようとする、一人一人の違いに応じた表現や役割を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保することができるようにする。</p>	<p>ダンス</p> <p>ウ 現代的なリズムのダンス</p>	<p>○ダンスでは、各ダンスで用いられる名称や用語があり、それぞれのダンスには、表現や踊りにつながる重要な動きや空間の使い方などのポイント及び安全で合理的、計画的な練習の仕方があることを言ったり、書き出したりしている。</p> <p>○選んだリズムや音楽の特徴を捉え、変化のある動きを連続して、個と群や空間の使い方を強調した構成でまとまりを付けて踊ることができる。</p> <p>○選択したダンスについて、自己や仲間の動きや表現を分析して、良い点や修正点を指摘している。</p> <p>○作品づくりなどの話し合う場面で、合意形成に貢献しようとしている。</p>	○	○	○	9
<p>○記録の向上や競争及び自己や仲間の課題を解決するなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、自己に適した泳法の効率を高めて泳ぐことができるようにする。</p> <p>○複数の泳法で長く泳ぐこと又はリレーをすることができるようにする。</p> <p>○生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。</p> <p>○水泳に主体的に取り組みとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保することができるようにする。</p>	<p>水泳</p> <p>ク クロール</p> <p>イ 平泳ぎ</p> <p>ウ 背泳ぎ</p> <p>エ バタフライ</p> <p>オ 複数の泳法で泳ぐこと、又はリレー</p>	<p>○水泳では、各種目や運動の局面ごとに技術の名称があり、それぞれの技術には、効率のよい泳ぎにつながる重要な動きのポイントや安全で合理的、計画的な練習の仕方があることを言ったり書き出したりしている。</p> <p>○選択した泳法で長く泳ぐことができる。</p> <p>○選択した泳法について、自己や仲間の動きを分析して、良い点や修正点を指摘している。</p> <p>○水泳の事故防止の心得を遵守し、危険の予測をしながら回避行動をとるなど、健康・安全を確保することができる。</p>	○	○	○	8

1  
学期



年間授業計画

三宅高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 芸術 科目 音楽 I

教科：芸術 科目：音楽 I 単位数：2 単位

対象学年組：第 3 学年 F 組

教科担当者：（原田 徹）

使用教科書：（教育芸術社：MOUSA）

教科 芸術 の目標：

【知識及び技能】 芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 創造的な表現をしたり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 音楽 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想をと音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。	自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聞くことができるようにする。	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		歌	器	創						
A 校歌 【知識及び技能】 言葉の特性と曲種（音楽の種類）に応じた発声との関わりを理解し、創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な技能を身に付けて歌うことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 歌唱表現にかかわる知識や技能を得たり生かしたりしながら、自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり歌唱を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。	【校歌】 ・校歌の歌唱 ・校歌の記譜	○			○		○	○	○	5
B ソルフェージュ 【知識及び技能】 視唱に関する知識や技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 音楽を形づくっている要素の働きやその効果などに関する思考力、判断力、表現力等を育成する。 【学びに向かう力、人間性等】 音楽性豊かな表現をするための基礎となる学習を大切にすることを養う。	【ソルフェージュ】 ・新曲視唱 ・新曲リズム ・叩き歌	○			○		○	○	○	10
C 楽典 【知識及び技能】 音楽に関する基礎的な理論について理解するとともに、理解したことを楽譜によって表す技能を身に付けるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 音楽理論を表現や鑑賞の学習に活用する思考力、判断力、表現力等を育成する。 【学びに向かう力、人間性等】 音楽理論を表現や鑑賞に生かそうとする態度を養う。	【楽典】 ・音名 ・譜表 ・音符 ・休符 ・リズム ・反復記号	○					○	○	○	10

1 学期

<p>D 小さな空</p> <p>【知識及び技能】歌唱表現に関する知識や技能を得たり生かしたりしながら、自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わりを理解させる。また、言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりを理解させる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方を理解させる</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌唱</li> <li>・イタリア語歌詞の意味の理解</li> </ul>	○	○	<p>【知識・技能】・曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて理解している。</p> <p>・創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。</p> <p>【思考・判断・表現】音色、リズム、速度、テクスチャ、強弱、形式、構造を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととのかかわりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて関心を持ち、主体的・協働的に歌唱の学習活動の取り組みようとしている。</p>	○	○	○	5
<p>E 三味線</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・三味線の各構造を知る</li> <li>・三味線の構え方を知る</li> <li>・撥の使い方を知る</li> <li>・文化譜の読み方を知る</li> <li>・曲の雰囲気を知る</li> <li>・曲にふさわしい奏法で弾く</li> <li>・正しいリズム、音色で弾く</li> </ul>	<p>DVD鑑賞</p> <p>花笠音頭 寄せの合方</p>	○	○	<p>【知識・技能】曲想と和楽器の音色や双方との関わり、及び和楽器を使った様々な表現形態による器楽表現の特徴について理解している。</p> <p>・曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】音色、リズム、速度、テクスチャ、強弱、形式、構造を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わり、及び和楽器を使った様々な表現に関心を持ち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。</p> <p>・和楽器やその作品の特徴、及び他の楽器と比較した際の音楽表現の共通性や固有性に関心を持ち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	12
<p>F ピアノによる様々な表現効果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽の特徴を知る</li> <li>・様々な世代のピアノの特徴を知る</li> <li>・様々な世代のピアノ曲を知る</li> </ul>	<p>ピアノ鑑賞</p>		○	<p>【知識・技能】曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それら働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりに関心を持ち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	2
<p>G モーツァルトについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・モーツァルトの生涯を知る</li> <li>・様々なジャンルの音楽を知る</li> <li>・様々な作品の特徴を知る</li> </ul>	<p>映画『アマデウス』の鑑賞</p>		○	<p>【知識・技能】曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり及び音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて理解している</p> <p>【思考・判断・表現】音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、構成を知覚し、それらの働きについて感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり及び音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて関心を持ち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている</p>	○	○	○	4



三宅高等学校 令和6年度(3学年用) 教科

芸術 科目 音楽Ⅲ

教科: 芸術 科目: 音楽Ⅲ

単位数: 2 単位

対象学年組: 第3学年 N.I組

教科担当者: (原田 徹)

使用教科書: (教育芸術社:MOUSA)

教科 芸術

の目標:

【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現をしたり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたって芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 音楽Ⅲ

の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などの関わり及び音楽の多様性について理解を深めるとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする	個性豊かに音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴くことができるようにする	主体的・協働的に音楽の諸活動に取り組み、生涯にわたって音楽を愛好する心情を育むとともに、完成を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			評価	評価規準	知	思	態	記 時 数	
		歌	器	創							
1 学 期	A ソルフェージュ ・視唱に関する知識や技能を身に付けさせる ・音楽を形づくっている要素の働きやその効果などに関する思考力、判断力、表現力をつけさせる ・音楽性豊かな表現をするための基礎となる学習を大切にさせる	・リズムを正確に読む ・メロディーを階名で歌う ・リズムを聴き取る ・リズムを正確に打つ ・リズムを打ちながらメロディーを歌う ・音を聴き取る ・互いに聞きあいながらリズムを打つ	○		○	【知識・技能】 曲想と音楽の構造について理解している 【思考・判断・表現】 音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている 【主体的に学習に取り組む態度】 曲想と音楽の構造に関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている		○	○	○	14
	B ・どのような曲か理解させる ・歌詞の意味を理解させる ・作曲者について知る ・歌う時の表現方法を考えさせる ・歌詞と旋律の情景を考えさせる ・楽語を覚えさせる ・音程を付けずにリズムで歌わせる ・鼻濁音、子音を意識させる ・歌詞で歌わせる	SUN			○	【知識・技能】 曲想と音楽の構造や歌詞との関わり及び「その関わりによって生み出される表現上の効果について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。 【思考・判断・表現】 音色、リズム、速度、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて独自の表現意図をもっている 【主体的に学習に取り組む態度】 曲想と音楽の構造や歌詞との関わりによって生み出される表現上の効果に関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている		○	○	○	8
	C ・どのような曲か理解させる ・自分の担当するパートを決めさせる ・確認みをさせる ・他のパートを聴きながらアンサンブルをさせる ・メトロノームを使用して適切なテンポで演奏できるようにさせる	・シンコペーテッドクロック ・人生のメリーゴーランド			○	【知識・技能】 曲想と音楽の構造及びその関わりによって生み出される表現上の効果について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付け、器楽で表している。 【思考・判断・表現】 音色、リズム、速度、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表現するかについて独自の表現意図をもっている 【主体的に学習に取り組む態度】 曲想と音楽の構造によって生み出される表現上の効果に関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている		○	○	○	15
2 学 期	D ・楽器の構造について理解させる ・組み立て方について理解させる ・構え方について理解させる ・バチの使い方について理解させる ・文化譜について理解させる ・どのような曲か理解させる ・確認みをさせる ・伴奏にあわせて演奏させる ・伴奏をよく聴き演奏させる	三味線			○	【知識・技能】 曲想と和楽器の音色や奏法との関わりによって生み出される表現上の効果について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付け、器楽で表している。 【思考・判断・表現】 音色、リズム、速度、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表現するかについて独自の表現意図をもっている 【主体的に学習に取り組む態度】 曲想と和楽器の音色や奏法との関わりによって生み出される表現上の効果に関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている		○	○	○	5
	E ・映画音楽について学び、映画や楽曲を鑑賞させる	映画『ハリー・ポッターと賢者の石』			○	【知識・技能】 音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりについて理解している 【思考・判断・表現】 鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを深く味わって聴いている 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的・協働的に鑑賞の活動に取り組んでいる		○	○	○	2
	F ・『オペラ座の怪人』のストーリーについて理解させる ・今後の授業で歌唱をする曲について特に注目して鑑賞させる	オペラ座の怪人			○	【知識・技能】 歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、個性豊かに歌唱表現を創意工夫している 【思考・判断・表現】 様々な表現形態による歌唱表現の固有性や多様性について理解している 【主体的に学習に取り組む態度】 創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などについて理解している		○	○	○	7





三宅高等学校 令和6年度（3学年用） 教科

音楽 科目 声楽B

教科：音楽

科目：声楽B

単位数：2 単位

対象学年組：第3学年 N・F組

教科担当者：（原田 徹）

使用教科書：（ コールユーブンゲン、コンコーネ、イタリア歌曲集 ）

教科 音楽 の目標：

【知識及び技能】 音楽に関する幅広く多様な内容について理解を深めるとともに、表現意図を音楽で表すために必要な技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 音楽に関する知識や技能を動かせ、音楽の表現内容を解釈したり、表現意図をもつことができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 主体的に音楽に関する学習に取り組む態度を養う。

科目 声楽B の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
楽曲の表現内容について深めるとともに、創造的に歌唱表現するために必要な技能を身に付けるようにする。	音楽性豊かな表現について考え、表現意図を明確に持つことができるようにする。	音楽性豊かな表現を追求する態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			評価規準	知	思	態	配 当 時 数	
		歌	器	創						
1 学 期	A 【知識及び技能】 曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使用方を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 歌詞の内容や言葉のもつ語感について考えたり、音楽の構造を分析し、フレーズや楽曲全体をどのように歌うかについて考えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な時代や様式の音楽、地域やジャンルなどによって異なる多様な音楽について主体的に学習し、自分の声種や声の特徴などを生かし、音楽性豊かな歌唱表現を生み出させる。	・コールユーブンゲン ・コンコーネ50番練習曲より第1番 ・イタリア歌曲より『Caro mio ben』	○		○	【知識・技能】 楽曲の表現内容について深めるとともに、創造的に歌唱表現するために必要な技能を身に付けている 【思考・判断・表現】 音楽性豊かな表現について考え、表現意図を明確に持つことができている 【主体的に学習に取り組む態度】 音楽性豊かな表現を追求している	○	○	○	10
	B 【知識及び技能】 曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使用方を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 歌詞の内容や言葉のもつ語感について考えたり、音楽の構造を分析し、フレーズや楽曲全体をどのように歌うかについて考えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な時代や様式の音楽、地域やジャンルなどによって異なる多様な音楽について主体的に学習し、自分の声種や声の特徴などを生かし、音楽性豊かな歌唱表現を生み出させる。	・コールユーブンゲン ・コンコーネ50番練習曲より第2番 ・イタリア歌曲より『Sebben crudele』	○		○	【知識・技能】 楽曲の表現内容について深めるとともに、創造的に歌唱表現するために必要な技能を身に付けている 【思考・判断・表現】 音楽性豊かな表現について考え、表現意図を明確に持つことができている 【主体的に学習に取り組む態度】 音楽性豊かな表現を追求している	○	○	○	10
	C 【知識及び技能】 曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使用方を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 歌詞の内容や言葉のもつ語感について考えたり、音楽の構造を分析し、フレーズや楽曲全体をどのように歌うかについて考えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な時代や様式の音楽、地域やジャンルなどによって異なる多様な音楽について主体的に学習し、自分の声種や声の特徴などを生かし、音楽性豊かな歌唱表現を生み出させる。	・コールユーブンゲン ・コンコーネ50番練習曲より第3番 ・イタリア歌曲より『Sento nel core』	○		○	【知識・技能】 楽曲の表現内容について深めるとともに、創造的に歌唱表現するために必要な技能を身に付けている 【思考・判断・表現】 音楽性豊かな表現について考え、表現意図を明確に持つことができている 【主体的に学習に取り組む態度】 音楽性豊かな表現を追求している	○	○	○	10

2 学 期	D	<p>・コールユーブンゲン ・コンコーネ50番練習曲より第4番 ・イタリア歌曲より『Caro laccio』</p>	○	○	<p>【知識・技能】 楽曲の表現内容について深めるとともに、創造的に歌唱表現するために必要な技能を身に付けている 【思考・判断・表現】 音楽性豊かな表現について考え、表現意図を明確に持つことができている 【主体的に学習に取り組む態度】 音楽性豊かな表現を追求している</p>	○	○	○	10
	E	<p>・コールユーブンゲン ・コンコーネ50番練習曲より第5番 ・イタリア歌曲より『Se tu m'ami』</p>	○	○	<p>【知識・技能】 楽曲の表現内容について深めるとともに、創造的に歌唱表現するために必要な技能を身に付けている 【思考・判断・表現】 音楽性豊かな表現について考え、表現意図を明確に持つことができている 【主体的に学習に取り組む態度】 音楽性豊かな表現を追求している</p>	○	○	○	10
	F	<p>・コールユーブンゲン ・コンコーネ50番練習曲より第6番 ・イタリア歌曲より『Vergin, tutto amor』</p>	○	○	<p>【知識・技能】 楽曲の表現内容について深めるとともに、創造的に歌唱表現するために必要な技能を身に付けている 【思考・判断・表現】 音楽性豊かな表現について考え、表現意図を明確に持つことができている 【主体的に学習に取り組む態度】 音楽性豊かな表現を追求している</p>	○	○	○	10





年間授業計画

三宅高等学校 令和6年度(3学年用) 教科

外国語 科目 英語演習Ⅱ

教科：外国語

科目：英語演習Ⅱ

単位数：2 単位

対象学年組：第3学年 組～組

教科担当者：(須藤) (組： ) (組： ) (組： ) (組： ) (組： )

使用教科書：( Seek Next 3～4 )

教科 外国語

の目標：

【知識及び技能】基礎となる語彙、文法事項の理解、定着を図る。

【思考力、判断力、表現力等】大学受験につなげるための基礎的な読解力、リスニング能力を身に付ける。

【学びに向かう力、人間性等】粘り強く技能の獲得に取り組む。反復練習を継続して基礎固めをする。

科目 英語演習Ⅱ

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
課題や演習問題で出てきた単語、文法知識を確実にする。	一定量の文章を一定時間内に読解し、的確に内容把握できる。同様にリスニングにおいても的確に内容把握できる。	授業の活動や宿題に、積極的に継続して取り組める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			聞	読	話 〔 や 〕	話 〔 発 〕	書					
1 学 期	文型、時制等 一定量の文章を読解する基礎力をつける。短い会話のリスニングし、内容を把握する。 課題、問題への取り組み方を身に付ける。	・動詞＋前置詞等 ・ワークシート、リスニングCD ・ICT機器の活用	○	○	○	○	○	・発言、回答の様子 ・課題への取り組み状況 ・問題演習の結果	○	○	○	11
	助動詞、受動態、不定詞等 一定量の文章を読解する基礎力をつける。短い会話のリスニングし、内容を把握する。 課題、問題への取り組み方を身に付ける。	・色々なto不定詞等 ・ワークシート、リスニングCD ・ICT機器の活用	○	○	○	○	○	・発言、回答の様子 ・課題への取り組み状況 ・問題演習の結果	○	○	○	12
	定期考査								○	○		1
2 学 期	動名詞、分詞、比較等 一定量の文章を読解する基礎力をつける。短い会話のリスニングし、内容を把握する。 課題、問題への取り組み方を身に付ける。	・比較を用いた表現等 ・ワークシート、リスニングCD ・ICT機器の活用	○	○	○	○	○	・発言、回答の様子 ・課題への取り組み状況 ・問題演習の結果	○	○	○	13
	関係詞、仮定法等 一定量の文章を読解する基礎力をつける。短い会話のリスニングし、内容を把握する。 課題、問題への取り組み方を身に付ける。	・いろいろな仮定法等 ・ワークシート、リスニングCD ・ICT機器の活用	○	○	○	○	○	・発言、回答の様子 ・課題への取り組み状況 ・問題演習の結果	○	○	○	14
	定期考査								○	○		1
3 学 期	名詞、冠詞、代名詞等 一定量の文章を読解する基礎力をつける。短い会話のリスニングし、内容を把握する。 課題、問題への取り組み方を身に付ける。	・群接統詞等 ・ワークシート、リスニングCD ・ICT機器の活用	○	○	○	○	○	・発言、回答の様子 ・課題への取り組み状況 ・問題演習の結果	○	○	○	9
	形容詞、副詞等 一定量の文章を読解する基礎力をつける。短い会話のリスニングし、内容を把握する。 課題、問題への取り組み方を身に付ける。	・群前置詞等 ・ワークシート、リスニングCD ・ICT機器の活用	○	○	○	○	○	・発言、回答の様子 ・課題への取り組み状況 ・問題演習の結果	○	○	○	9
											合 計	70



年間授業計画

三宅 高等学校 令和6年度（3学年用） 教科

外国語

科目

英語コミュニケーションⅢ

教科： 外国語

科目： 英語コミュニケーションⅢ

単位数： 4 単位

対象学年組： 第 3 学年 F 組～ 組

教科担当者： (F組：須藤) (組： ) (組： ) (組： ) (組： ) (組： )

使用教科書： ( BIG DIPPER Ⅲ )

教科 外国語

の目標：

【知識及び技能】大学入試にも対応可能な程度の単語や文法の基礎知識を身につけさせる

【思考力、判断力、表現力等】論理的・客観的に物事を理解し、様々な話題に関して自分の意見を英語で表現する方法を身につけさせる

【学びに向かう力、人間性等】英語に興味を持たせ、生徒自身の可能性に気付かせるとともに、高校卒業後も自ら学び続けられるような動機づけをする

科目 英語コミュニケーションⅢ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
単語や熟語、文法、文構造等の基礎・基本的な知識を習得する	様々な話題に関して、情報や考えなどをよりの確に理解したりより適切に詳細を伝えたりする力を養う	教科書の単元で扱われる話題を実際の生活と結び付けて、英語に興味を持たせる

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		聞	読	話 ( や )	話 ( 発 )	書					
1 学 期	・本文の内容を理解させる。 ・批評的思考力を伸ばすとともに自分の意見を英語で表現できるようにする。	・単元に関する話題について意見交換 ・新出単語、文法、・本文読解 ・slash reading/sight translation ・一人1台端末の活用	○	○	○	○	○	○	○	○	11
	・本文の内容を理解させる。 ・批評的思考力を伸ばすとともに自分の意見を英語で表現できるようにする。	・単元に関する話題について意見交換 ・新出単語、文法、・本文読解 ・slash reading/sight translation ・一人1台端末の活用	○	○	○	○	○	○	○	○	12
	定期考査							○	○		1
	・本文の内容を理解させる。 ・批評的思考力を伸ばすとともに自分の意見を英語で表現できるようにする。	・単元に関する話題について意見交換 ・新出単語、文法、・本文読解 ・slash reading/sight translation ・一人1台端末の活用	○	○	○	○	○	○	○	○	11
	・本文の内容を理解させる。 ・批評的思考力を伸ばすとともに自分の意見を英語で表現できるようにする。	・単元に関する話題について意見交換 ・新出単語、文法、・本文読解 ・slash reading/sight translation ・一人1台端末の活用	○	○	○	○	○	○	○	○	12
定期考査							○	○		1	
2 学 期	・本文の内容を理解させる。 ・批評的思考力を伸ばすとともに自分の意見を英語で表現できるようにする。	・単元に関する話題について意見交換 ・新出単語、文法、・本文読解 ・slash reading/sight translation ・一人1台端末の活用	○	○	○	○	○	○	○	○	13
	・本文の内容を理解させる。 ・批評的思考力を伸ばすとともに自分の意見を英語で表現できるようにする。	・単元に関する話題について意見交換 ・新出単語、文法、・本文読解 ・slash reading/sight translation ・一人1台端末の活用	○	○	○	○	○	○	○	○	14
	定期考査							○	○		1
	・本文の内容を理解させる。 ・批評的思考力を伸ばすとともに自分の意見を英語で表現できるようにする。	・単元に関する話題について意見交換 ・新出単語、文法、・本文読解 ・slash reading/sight translation ・一人1台端末の活用	○	○	○	○	○	○	○	○	13
	・本文の内容を理解させる。 ・批評的思考力を伸ばすとともに自分の意見を英語で表現できるようにする。	・単元に関する話題について意見交換 ・新出単語、文法、・本文読解 ・slash reading/sight translation ・一人1台端末の活用	○	○	○	○	○	○	○	○	14
定期考査							○	○		1	
3 学 期	・本文の内容を理解させる。 ・批評的思考力を伸ばすとともに自分の意見を英語で表現できるようにする。	・単元に関する話題について意見交換 ・新出単語、文法、・本文読解 ・slash reading/sight translation ・一人1台端末の活用	○	○	○	○	○	○	○	○	18
	・本文の内容を理解させる。 ・批評的思考力を伸ばすとともに自分の意見を英語で表現できるようにする。	・単元に関する話題について意見交換 ・新出単語、文法、・本文読解 ・slash reading/sight translation ・一人1台端末の活用	○	○	○	○	○	○	○	○	18
										合計	140

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 農業 科目 課題研究

教科：農業 科目：課題研究 単位数：2 単位

対象学年組：第3学年 1組～ 組

教科担当者：荒城、石井、中嶋、荒井、石黒、井口

使用教科書：（ ）

教科 農業 の目標：

- 【知識及び技能】 草花および野菜の栽培と食品の製造に関する知識、技術の理解と定着を深めるとともに、目的や状況に応じた実際の場面において適切に運用、活用できる技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 草花および野菜の栽培と食品の製造に関する知識や技術を実際の場面において状況や状態適切に判断して柔軟な思考力を持って対応することができる力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 課題の解決に向け、探究的かつ意欲的な態度で自ら考え行動し、対応していく力、コミュニケーション能力、協調性、勤労意欲、チャレンジ精神などを主体的に図ろうとしている。

科目 課題研究 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
調査や観察、実習などを通して考察や見解を理論的に考える力を養う。	各自の計画性、実践力及び問題解決能力や人間生活の様々な場面で、問題解決を対処できる能力を養う	自主的、継続的に学習する姿勢と、探求的、創造的な能力と態度および自己実現を図る能力と態度を養う

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期 テーマの決定および研究 ○農業に関する研究テーマを設定し「調査・研究・実験」「作品制作」について扱うことを理解させる。 ○計画にしたがって毎日継続して観察や調査をすることや記録は必ずとする習慣を身に付ける。 ○修正を行いながら計画に基づいて研究を実践する。	1 テーマの決定方法 2 研究テーマに対する取り組み	【知識・技能】 課題設定の意義・目標及び方法を理解し、年間計画・学期・月別計画の立案ができており、計画に基づいた実践ができています。 【思考・判断・表現】 現状を把握し課題を見つけ解決のための方法を思考することができる。 全体的な大まかな仮説を立てることができる。 実施記録が適切に行われ、的確に自己評価をすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 加工した食品の品質を維持するために、食品の変質の仕組みについて興味・関心を持ち、市販されている加工食品の種類による貯蔵法の違いについて探究しようとしている。	○	○	○	22
2 学期 テーマの決定および研究 ○農業に関する研究テーマを設定し「調査・研究・実験」「作品制作」について扱うことを理解させる。 ○計画にしたがって毎日継続して観察や調査をすることや記録は必ずとする習慣を身に付ける。 ○修正を行いながら計画に基づいて研究を実践する。	1 テーマの決定方法 2 研究テーマに対する取り組み	【知識・技能】 課題設定の意義・目標及び方法を理解し、年間計画・学期・月別計画の立案ができており、計画に基づいた実践ができています。 【思考・判断・表現】 現状を把握し課題を見つけ解決のための方法を思考することができる。 全体的な大まかな仮説を立てることができる。 実施記録が適切に行われ、的確に自己評価をすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 加工した食品の品質を維持するために、食品の変質の仕組みについて興味・関心を持ち、市販されている加工食品の種類による貯蔵法の違いについて探究しようとしている。	○	○	○	15
研究および要旨集の作成 ○計画にしたがって毎日継続して観察や調査をすることや記録は必ずとする習慣を身に付ける。 ○自分の課題にそって記録やデータを分類整理し、実施結果をまとめ、まとめ方は表やグラフにして、他の人が見てひとめで理解できるようにする。	1 研究テーマに対する取り組み 2 要旨集作成にあたっての取り組み	【知識・技能】 学期・月別計画の修正・立案ができ、関連知識を深化しており、計画に基づいた実践ができています。 【思考・判断・表現】 更なる課題解決のための方法を思考することができる。 検証を行いながら、仮説を立て解決や修正を行うことができる。 実施記録が適切に行われ、的確に自己評価をすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に取り組む、成就させようとする意欲や姿勢や探求的・創造的に課題解決にあたる態度がみられる。	○	○	○	16
3 学期 研究成果の報告 ○要旨集をもとに、自分か最も知ってもらいたい結果をプレゼンテーションを用いてわかりやすく発表する。 ○自分の課題にそって記録やデータを分類整理し、実施結果をまとめ、まとめ方は表やグラフにして、他の人が見てひとめで理解できるようにする。	1 研究成果の報告 2 研究成果の発表	【知識・技能】 学習成果の発表に向けた方法を会得し、実施計画の立案ができています。 計画に基づいた実践ができています。 【思考・判断・表現】 検証と解決を通して新たな課題・疑問を思考することができる。 検証と解決を通して新たな課題・疑問を整理することができる。 記録簿を適切にまとめ、学習成果の発表し、的確に自己評価をすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 工夫してまとめ上げる努力を行う態度がみられる。 実施結果を見て、次への意欲がみられる。	○	○	○	17
合計						70

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 農業 科目 食品製造

教科： 農業 科目： 食品製造 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 3 学年 N 組～ 組

教科担当者： 荒城

使用教科書： ( )

教科 農業 の目標：

- 【知識及び技能】 草花および野菜の栽培と食品の製造に関する知識、技術の理解と定着を深めるとともに、目的や状況に応じた実際の場面において適切に運用、活用できる技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 草花および野菜の栽培と食品の製造に関する知識や技術を実際の場面において状況や状態を適切に判断して柔軟な思考力を持って対応することができる力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 課題の解決に向け、探究的かつ意欲的な態度で自ら考え行動し、対応していく力、コミュニケーション能力、協調性、勤労意欲、チャレンジ精神などを主体的に図ろうとしている。

科目 食品製造 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
食品製造について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身につけている。	食品製造に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を身につけている。	食品製造について生産性や品質の向上が経営発展へつながるようみずから学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協動的に取り組む態度を身につけている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
第3章 食品の変質と貯蔵 ○食品を変質させる要因は複数の要因があり、それらの要因が複雑に絡んでいることを理解させる。 ○食品の貯蔵法が、様々な方法を用いて水分、温度、空気組成等の諸条件を変化させることで食品の変質要因を少なくしていることを理解させる。	1 食品の変質とその原因 ① 生物的要因による変質 ② 物理的・化学的要因による変質 2 食品の貯蔵法 ① 食品の貯蔵法の種類 ② 乾燥による貯蔵	【知識・技能】 加工した食品の品質を維持するために、食品の変質の仕組みを理解し、それを防ぐために様々な食品の種類に応じた貯蔵法が存在していることを理解している。 食品の変質を防ぐために食品に応じた貯蔵法が設定されているが、それらの貯蔵法により食品の品質にどのような変化が生ずるのか、知識を活用して調査することができる。 【思考・判断・表現】 食品の変質を防ぐために、食品に応じた設定されている様々な貯蔵法について、市販されている加工食品に記載されている保存方法をまとめ、保存方法の仕組みについて説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 加工した食品の品質を維持するために、食品の変質の仕組みについて興味・関心を持ち、市販されている加工食品の種類による貯蔵法の違いについて探究しようとしている。	○	○	○	10
付録 ① 茶 ○茶の特徴と種類を理解させる。 ○茶の代表的な加工品の緑茶の製造理論および製造方法を理解させる。	1 茶 ① 茶の種類 ② 茶の成分 ③ 茶の製造	【知識・技能】 原材料としての農産物の特徴、及び農産物の加工食品の基本的な製造過程と原理を知識として習得し、農産物に付加価値をつけて流通していることを理解している。 【思考・判断・表現】 農産物を原料とした加工食品の製造方法を踏まえ、地域の農産物の特徴を生かした加工食品を製造するプランを立てられる。 【主体的に学習に取り組む態度】 原材料を農産物とした加工食品の製造に関心を持ち、原材料の特徴を生かし、衛生管理と倫理観にもとづいた食品製造を行う意欲・態度を身に付けている。	○	○	○	3
定期考査			○	○		1
第3章 食品の変質と貯蔵 ○食品を変質させる要因は複数の要因があり、それらの要因が複雑に絡んでいることを理解させる。 ○食品の貯蔵法が、様々な方法を用いて水分、温度、空気組成等の諸条件を変化させることで食品の変質要因を少なくしていることを理解させる。	2 食品の貯蔵法 ③ 低温による貯蔵 ④ 殺菌による貯蔵 ⑤ 食塩・砂糖・酢による貯蔵 ⑥ 空気組成の調節による貯蔵 ⑦ 食品添加物による貯蔵	【知識・技能】 加工した食品の品質を維持するために、食品の変質の仕組みを理解し、それを防ぐために様々な食品の種類に応じた貯蔵法が存在していることを理解している。 食品の変質を防ぐために食品に応じた貯蔵法が設定されているが、それらの貯蔵法により食品の品質にどのような変化が生ずるのか、知識を活用して調査することができる。 【思考・判断・表現】 食品の変質を防ぐために、食品に応じた設定されている様々な貯蔵法について、市販されている加工食品に記載されている保存方法をまとめ、保存方法の仕組みについて説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 加工した食品の品質を維持するために、食品の変質の仕組みについて興味・関心を持ち、市販されている加工食品の種類による貯蔵法の違いについて探究しようとしている。	○	○	○	13
定期考査			○	○		1

2 学期	<p>第5章 食品の包装と表示</p> <p>○食品の包装が、商品の貯蔵性を高めるだけでなく、輸送性の向上、商品性の向上を図ることができることを理解させる。</p> <p>○加工食品に適切な包装素材が使われていることを理解するとともに、包装容器が素材別にリサイクルされていることを理解させる。</p> <p>○食品の表示が、消費者へ食品の製造場所、原材料、消費及び賞味期限など必要な情報を伝える役割を持つことを理解させる。</p> <p>○特色のある原材料を使用した加工食品にJASマークが使われていることを理解させる。</p>	<p>1 食品の包装</p> <p>① 食品包装の目的と種類</p> <p>② 食品の包装材料</p> <p>③ 食品の包装形態と包装技術</p> <p>④ 容器包装リサイクル法</p> <p>2 加工食品の表示制度</p> <p>① 食品表示の意義と制度</p> <p>② 食品と規格制度</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>食品の包装や表示について、包装素材が商品だけでなく環境に重視したものが使われ、表示が法令に遵守したものをを使い、商品の品質が保証されることを理解している。</p> <p>食品の包装や表示が、商品のイメージや品質を保証する機能を有することを踏まえ、実習で製造した製品にふさわしい包装のデザインができる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>食品の包装や表示が、商品のイメージや品質を保証する機能を有することを踏まえ、実習で製造した商品の包装のデザインの意図を説明できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>食品の包装や表示が、商品のイメージや品質を保証するなど重要な機能を持つということに興味・関心を持ち、自分たちで包装のデザインを試みるなど実践的な態度を身に付けている。</p>	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
2 学期	<p>第9章 食品製造の実践と企業化</p> <p>○加工食品の製造工程に欠かせない加熱と冷却に使われている機器の仕組みを理解させる。</p> <p>○加工食品の品質保持のために使われる冷却装置の仕組みを理解させる</p> <p>○加工食品の製造には、消費者の立場に立った品質管理が重要であることを理解させる。</p> <p>○加工食品の品質確保のために、製造施設及び従業員の管理も品質管理として重要であることを理解させる。</p> <p>○安全な加工食品の製造には、明確で無駄のない作業体系が必要であることを理解させる。</p>	<p>1 食品製造における機械と装置の利用</p> <p>① 加熱装置とその利用</p> <p>② 加熱殺菌と冷却</p> <p>③ 冷却装置とその利用</p> <p>④ かくはん混合</p> <p>⑤ 次世代の食品工場</p> <p>2 品質管理</p> <p>① 品質管理の必要性</p> <p>② 従業員の管理と教育</p> <p>③ 施設・設備の整備と管理</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>食品の製造や保存に使われる機械の用途や特徴を理解している。</p> <p>加工食品を衛生的かつ効率よく安定して製造するための検証・確立方法を理解している。</p> <p>食品の製造や保存に使われる機械の用途を理解し、様々な場面で正しく機械を選択し使うことができる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>食品の製造や保存に使われる機械を駆使し、衛生管理及び品質の安定した加工食品を提供するために作業体系を考案するとともに、作業チームとしてその内容を徹底するためにコミュニケーションを図りながら、作業体系を実行することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>食品の製造や保存に使われる各種機械の構造や機能に興味・関心を持ち、用途に応じて正しい機械の使い方を学ぶ態度を身に付けている。</p>	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
3 学期	<p>第9章 食品製造の実践と企業化</p> <p>○作業体系が確立されているという基準にISOやHACCPが用いられることを理解させる。</p> <p>○加工食品を製造、販売して利益を上げるために、どのように企業の組織が成り立っているのか理解させる。</p> <p>○加工食品の価格を決定するために、どのようなことが考慮されているのか理解させる。</p>	<p>3 作業体系</p> <p>① 作業体系とは</p> <p>② 作業体系の改善</p> <p>4 食品製造の実践</p> <p>① 食品企業の経営</p> <p>② 新商品開発</p> <p>③ 生産性の向上</p> <p>④ 高校生による実践例</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>特徴ある加工食品を安定した品質で製造するために作業体系を検証し、改善策を考案することができる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>食品の製造や保存に使われる機械を駆使し、衛生管理及び品質の安定した加工食品を提供するために作業体系を考案するとともに、作業チームとしてその内容を徹底するためにコミュニケーションを図りながら、作業体系を実行することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>加工食品を効率よく、かつ安定した製品を製造するための作業体系及び品質管理の確立について興味・関心を持ち、実習を通して安心安全な加工食品の製造を進める態度を身に付けている。</p>	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1
合計							70

年間授業計画 様式例

高等学校 令和6年度（3学年用）教科 農業 科目 総合実習（3年）

教科：農業 科目：総合実習（3年） 単位数： 単位  
 対象学年組：第 3 学年 N 組～ 組  
 教科担当者：(N組： 荒城 新 石井 陽次 中嶋 龍也 )  
 使用教科書：( なし )

教科 農業 の目標：  
 【知識及び技能】 草花および野菜の栽培と食品の製造に関する知識、技術の理解と定着を深めるとともに、目的や状況に応じた実際の場面において適切に運用、活用できる技能を身に付けるようにする。  
 【思考力、判断力、表現力等】 草花および野菜の栽培と食品の製造の知識や技術を実際の場面において状況や状態を適切に判断して柔軟な思考力を持って対応することができる力を養う。  
 【学びに向かう力、人間性等】 課題の解決に向け、探求的かつ意欲的な態度で自ら考え行動し、適応していく力、コミュニケーション能力、協調性、勤労意欲、チャレンジ精神などを主体的に鍛えようとする態度を養う。

科目 総合実習（3年）	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
	・草花、野菜、食品の3分野に関する知識、技術の理解と定着を養育場面を介して深化させる技能を身に付けている。	・草花、野菜、食品に関する知識や技術を養育の場面において柔軟な思考力を持って対応している。	・課題の解決に向け、探求的かつ意欲的な態度で自ら考え行動し、適応していく力、コミュニケーション能力、協調性、勤労意欲、チャレンジ精神などを主体的に鍛えようとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学 期	・お茶の加工の原理と、お茶の製造の製造工程を理解できるようにする。 【煎茶の製造】 【紅茶の製造】 ・お茶の栽培管理ができる。 ・紅茶の製造工程を理解することができる。	茶の製造 【煎茶の製造】 【紅茶の製造】	・原材料としての農産物の特徴、及び農産物の加工食品の基本的な製造過程と原理を知識として習得し、農産物に付加価値をつけて流通していることを理解している。 ・原材料としての農産物の特徴を理解し、農産物を主原料とした代表的な加工食品の製造を行うことができる。 ・原材料を農産物とした加工食品の製造に関心を持ち、原材料の特徴を生かし、衛生管理と倫理観にもとづいた食品製造を行う意欲・態度を身に付けている。	○	○	○	15
	・加工食品の原料としての穀類の種類と特徴を理解できるようにする。 ・小麦粉の加工の原理と、マドレーヌの製造工程を理解できるようにする。 ・原材料の特徴を理解し、マドレーヌの製造を行うことができる。	穀類の加工 【マドレーヌの製造】	・原材料としての農産物の特徴、及び農産物の加工食品の基本的な製造過程と原理を知識として習得し、農産物に付加価値をつけて流通していることを理解している。 ・原材料としての農産物の特徴を理解し、農産物を主原料とした代表的な加工食品の製造を行うことができる。 ・原材料を農産物とした加工食品の製造に関心を持ち、原材料の特徴を生かし、衛生管理と倫理観にもとづいた食品製造を行う意欲・態度を身に付けている。	○	○	○	4
	・作物の特性や育成と環境要素、生産計画と工程管理について基礎的な内容を理解するとともに、関連する技術を身につける。 ・作物の特性や育成と環境要素、生産計画と工程管理に関する課題を発見し、科学的根拠に基づいて創造的に解決する。 ・作物の特性や育成と環境要素、生育と環境要素、生産計画と工程管理について、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む。	園芸作物の栽培 【野菜の栽培】 【草花の栽培】	・作物の特性や育成と環境要素、生産計画と工程管理について基礎的な内容を理解するとともに、関連する技術を身につける。 ・作物の特性や育成と環境要素、生産計画と工程管理に関する課題を発見し、科学的根拠に基づいて創造的に解決している。 ・作物の特性や育成と環境要素、生育と環境要素、生産計画と工程管理について、自ら学び主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	22
定期考査			○	○		1	
2 学 期	・加工食品の原料としての豆類の特徴と種類を理解させる。 ・果実類の代表的な加工食品である、ジャム、ジュース、缶詰および乾燥果実の製造方法と理論を理解させる。 ・豆類の代表的な加工食品である、豆腐の製造方法と理論を理解させる。 ・特徴を理解できるようにする。 ・原材料の特徴を理解し、ジャムの製造を行うことができる。	園芸加工 【ジャム製造】 【豆腐の製造】	・原材料としての農産物の特徴、及び農産物の加工食品の基本的な製造過程と原理を知識として習得し、農産物に付加価値をつけて流通していることを理解している。 ・原材料としての農産物の特徴を理解し、農産物を主原料とした代表的な加工食品の製造を行うことができる。 ・原材料を農産物とした加工食品の製造に関心を持ち、原材料の特徴を生かし、衛生管理と倫理観にもとづいた食品製造を行う意欲・態度を身に付けている。	○	○	○	12
	・加工食品の原料としての穀類の種類と特徴を理解できるようにする。 ・小麦粉の加工の原理と、バウムクーヘン、スポンジの製造工程を理解できるようにする。 ・原材料の特徴を理解し、バウムクーヘン、スポンジの製造を行うことができる。 ・デコレーションケーキのデザインの考え方を理解し、デザインができるようにする。	穀類加工 【バウムクーヘンの製造】 【デコレーションケーキの製造】	・原材料としての農産物の特徴、及び農産物の加工食品の基本的な製造過程と原理を知識として習得し、農産物に付加価値をつけて流通していることを理解している。 ・原材料としての農産物の特徴を理解し、農産物を主原料とした代表的な加工食品の製造を行うことができる。 ・原材料を農産物とした加工食品の製造に関心を持ち、原材料の特徴を生かし、衛生管理と倫理観にもとづいた食品製造を行う意欲・態度を身に付けている。	○	○	○	16
	・作物の特性や育成と環境要素、生産計画と工程管理について基礎的な内容を理解するとともに、関連する技術を身につける。 ・作物の特性や育成と環境要素、生産計画と工程管理に関する課題を発見し、科学的根拠に基づいて創造的に解決する。 ・作物の特性や育成と環境要素、生育と環境要素、生産計画と工程管理について、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む。	園芸作物の栽培 【野菜の栽培】 【草花の栽培】	・作物の特性や育成と環境要素、生産計画と工程管理について基礎的な内容を理解するとともに、関連する技術を身につける。 ・作物の特性や育成と環境要素、生産計画と工程管理に関する課題を発見し、科学的根拠に基づいて創造的に解決している。 ・作物の特性や育成と環境要素、生育と環境要素、生産計画と工程管理について、自ら学び主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	28
定期考査			○	○		1	
3 学 期	・加工食品の原料としての穀類の種類と特徴を理解できるようにする。 ・小麦粉の加工の原理と、シュークリーム、シフォンケーキの製造工程を理解できるようにする。 ・原材料の特徴を理解し、シュークリーム、シフォンケーキの製造を行うことができる。	穀類加工 【シュークリームの製造】 【シフォンケーキの製造】	・原材料としての農産物の特徴、及び農産物の加工食品の基本的な製造過程と原理を知識として習得し、農産物に付加価値をつけて流通していることを理解している。 ・原材料としての農産物の特徴を理解し、農産物を主原料とした代表的な加工食品の製造を行うことができる。 ・原材料を農産物とした加工食品の製造に関心を持ち、原材料の特徴を生かし、衛生管理と倫理観にもとづいた食品製造を行う意欲・態度を身に付けている。	○	○	○	8
	・加工食品の原料としての豆類の特徴と種類を理解させる。 ・アズキを使用した製菓の製造方法と理論を理解させる。 ・穀を原料とした加工食品である、ようかん、どらやきの製造方法と理論を理解させる。 ・特徴を理解できるようにする。	園芸加工 【餡の製造】 【よかんの製造】 【どらやきの製造】	・原材料としての農産物の特徴、及び農産物の加工食品の基本的な製造過程と原理を知識として習得し、農産物に付加価値をつけて流通していることを理解している。 ・原材料としての農産物の特徴を理解し、農産物を主原料とした代表的な加工食品の製造を行うことができる。 ・原材料を農産物とした加工食品の製造に関心を持ち、原材料の特徴を生かし、衛生管理と倫理観にもとづいた食品製造を行う意欲・態度を身に付けている。	○	○	○	8
	・作物の特性や育成と環境要素、生産計画と工程管理について基礎的な内容を理解するとともに、関連する技術を身につける。 ・作物の特性や育成と環境要素、生産計画と工程管理に関する課題を発見し、科学的根拠に基づいて創造的に解決する。 ・作物の特性や育成と環境要素、生育と環境要素、生産計画と工程管理について、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む。	園芸作物の栽培 【野菜の栽培】 【草花の栽培】	・作物の特性や育成と環境要素、生産計画と工程管理について基礎的な内容を理解するとともに、関連する技術を身につける。 ・作物の特性や育成と環境要素、生産計画と工程管理に関する課題を発見し、科学的根拠に基づいて創造的に解決している。 ・作物の特性や育成と環境要素、生育と環境要素、生産計画と工程管理について、自ら学び主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	24
定期考査			○	○		1	

三宅高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 農業 科目 草花

教科：農業 科目：草花 単位数：2 単位

対象学年組：第3学年 F組

教科担当者：（F組：石井 陽次）

使用教科書：（草花（実教出版））

教科 農業 の目標：

- 【知識及び技能】 草花および野菜の栽培と食品の製造に関する知識、技術の理解と定着を深めるとともに、目的や状況に応じた実際の場面において適切に運用、活用できる技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 草花および野菜の栽培と食品の製造に関する知識や技術を実際の場面において状況や状態を適切に判断して柔軟な思考力を持って対応することができる力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 課題の解決に向け、探究的かつ意欲的な態度で自ら考え行動し、対応していく力、コミュニケーション能力、協調性、勤労意欲、チャレンジ精神などを主体的に図ろうとしている。

科目 草花 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
草花の生産と経営について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	草花の生産と経営に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。	草花の生産と経営について生産性や品質の向上が経営発展へつながるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	第7章花壇用草花生産 【知識及び技能】 春まき一年草の種類と特徴を理解し、種子の大きさと発芽特性に応じて播種作業をすること。 【思考力、判断力、表現力等】 種子の大きさと発芽特性に応じて播種方法を検討すること。 【学びに向かう力、人間性等】 種子袋から、植物にあった播種・育苗方法をとらえること。	1. 花壇用草花生産の特色 (2) 花壇用草花の種類 3. 花壇用草花の栽培 (1) ペチュニア (4) ベゴニア センパフローレンス (7) その他の花壇用草花 ニチニチソウ・マリーゴールド	【知識・技能】 春まき一年草の種類と特徴を理解し、種子の大きさと発芽特性に応じて播種作業をすることができるか。 【思考・判断・表現】 種子の大きさと発芽特性に応じて播種方法を検討することができるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 自ら実習に取り組もうとしているか。自分の作業を振り返り、反省点を挙げて改善しようと取り組んでいるか。	○	○	○	6
	第3章生活と草花の利用 【知識及び技能】 聞き手側に理解しやすい花壇設計の発表や、図面を仕上げること。 【思考力、判断力、表現力等】 草花の特徴を踏まえたうえで花壇のデザインを設計すること。 【学びに向かう力、人間性等】 三宅島らしさや農業科の特性を踏まえ、創造的な花壇設計を行うこと。	1. 草花の多面的利用 (1) 草花利用の意義 (2) 草花の利用 2. 園芸デザイン (1) 園芸デザインと草花の装飾的特徴 (2) 園芸デザインの基本 (3) 園芸デザインの実際	【知識・技能】 花壇設計において、草花の特徴を抑えてデザインすることができているか。 自身のイメージした花壇を図面上に描き起こすことができるか。 【思考・判断・表現】 草花の高さや色合いなどの特徴を踏まえ、花壇のデザインすることができているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 グループで協力して作業を行うことができているか。 設計図面やレポート課題を期限内に提出できているか。 花壇設計の発表で、自身の花壇の魅力を伝えようとしているか。	○	○	○	8
	第7章花壇用草花生産 【知識及び技能】 春まき一年草の種類と特徴を理解し、特性に応じて鉢上げ作業や植え付けをすること。 【思考力、判断力、表現力等】 草花の特徴を踏まえたうえで花壇のデザインを設計すること。 【学びに向かう力、人間性等】 鉢上げ作業や植え付け作業において、設計に沿って施工し、見栄えの良いものを施工しようとする	1. 花壇用草花生産の特色 (2) 花壇用草花の種類 3. 花壇用草花の栽培 (1) ペチュニア (4) ベゴニア センパフローレンス (7) その他の花壇用草花 ニチニチソウ・マリーゴールド	【知識・技能】 春まき一年草の種類と特徴を理解し、適切な鉢上げ作業や植え付け作業ができるか。 【思考・判断・表現】 草花の高さや色合いなどの特徴を踏まえ、花壇のデザインが設計できているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 グループで協力して作業を行うことができているか。レポート課題を期限内に提出できているか。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1



三宅高等学校 令和6年度(3学年用) 教科 農業 科目 野菜

教科: 農業 科目: 野菜 単位数: 2 単位  
 対象学年組: 第3学年 F組  
 教科担当者: 中嶋 龍也、荒井 猛 (組: ) (組: ) (組: ) (組: )  
 使用教科書: (実教出版「野菜」)  
 教科 農業 の目標:

- 【知識及び技能】 草花および野菜の栽培と食品の製造に関する知識、技術の理解と定着を深めるとともに、目的や状況に応じた実際の場面において適切に運用、活用できる技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 草花および野菜の栽培と食品の製造に関する知識や技術を実際の場面において状況や状態を適切に判断して柔軟な思考力を持って対応することができる力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 課題の解決に向け、探究的かつ意欲的な態度で自ら考え行動し、対応していく力、コミュニケーション能力、協調性、勤労意欲、チャレンジ精神などを主体的に図ろうとしている。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
①野菜の栽培に関する基礎的な知識を理解している ②野菜の栽培に実際に関わる中で栽培技術や生育の観察を正しく行っている。	①野菜の製造と特性、加工の原理を学び、栽培する際の品質と生産性の向上を図ることについて思考できる。 ②野菜の栽培に関わる中で野菜の状況をふまけに観察し、その変化の原因について考察ができる。	①積極的に授業に参加し野菜の栽培に関する知識の習得が行える ②グループワークにおいて積極的にコミュニケーションをとり対話によって考えを深めている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学期	第1章果実実験を利用する野菜の栽培 ⑤ 温室メロン ⑥ スイカ ○代表的な果実を利用する野菜の栽培方法について座学を通して基礎知識を身に付け、実際の栽培を通して実践的な技術を体験的に身に付ける	○果実を利用する野菜の栽培 ⑤ 温室メロン ⑥ スイカ	○各野菜の特徴とその産業の現状と動向に関する基礎的な知識を身に付け野菜栽培の社会的な役割を理解している ○野菜のもつ生育の特性を理解しそれぞれに合った栽培法やその原理について理解している。 ○野菜栽培の実際に興味・関心を持ち積極的に実習に参加しその内容を正確に記録している。	○	○	○	8
	第2章野菜の品種改良と繁殖 3 育苗技術の実際と方法 ○育苗の目的と方法について苗が発芽する原理を理解し、実際に行われている様々な技術を実習を通して観察することで体験的に理解を深める	○野菜の品種改良と繁殖 3 育苗技術の実際と応用 3-① つぎ木育苗技術 3-④セル成型苗生産とその利用	○野菜の栽培技術の中でも、特に重要な育苗技術についてその種類や産業の動向について理解している。 ○各種育苗技術の原理やその利用法について理解し、野菜だけではなく植物を生産する現場全体で利用されていることを理解する	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
2 学期	第4章果実実験を利用する野菜の栽培 ⑦ カボチャ ○代表的な果実を利用する野菜の栽培方法について座学を通して基礎知識を身に付け、実際の栽培を通して実践的な技術を体験的に身に付ける	○果実を利用する野菜の栽培 ⑦ カボチャ	○各野菜の特徴とその産業の現状と動向に関する基礎的な知識を身に付け野菜栽培の社会的な役割を理解している ○野菜のもつ生育の特性を理解しそれぞれに合った栽培法やその原理について理解している。 ○野菜栽培の実際に興味・関心を持ち積極的に実習に参加しその内容を正確に記録している。	○	○	○	4
	第2章野菜の品種改良と繁殖 3 育苗技術の実際と方法 ○育苗の目的と方法について苗が発芽する原理を理解し、実際に行われている様々な技術を実習を通して観察することで体験的に理解を深める	○野菜の品種改良と繁殖 3-① 栄養系苗生産とバイオテクノロジー	○野菜の栽培技術の中でも、特に重要な育苗技術についてその種類や産業の動向について理解している。 ○各種育苗技術の原理やその利用法について理解し、野菜だけではなく植物を生産する現場全体で利用されていることを理解する	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
3 学期	第1章果実実験を利用する野菜の栽培 ⑩ スイートコーン ○代表的な果実を利用する野菜の栽培方法について座学を通して基礎知識を身に付け、実際の栽培を通して実践的な技術を体験的に身に付ける	○果実を利用する野菜の栽培 ⑩ スイートコーン	○各野菜の特徴とその産業の現状と動向に関する基礎的な知識を身に付け野菜栽培の社会的な役割を理解している ○野菜のもつ生育の特性を理解しそれぞれに合った栽培法やその原理について理解している。 ○野菜栽培の実際に興味・関心を持ち積極的に実習に参加しその内容を正確に記録している。	○	○	○	8
	第7章野菜の流通と鮮度保持 1 野菜の流通と鮮度保持 ○野菜の流通と経営改善について農家の経営に関する様々な知識を学び、実際の農業にかかる労力や費用について実習を通して体験的に理解する。	○野菜の品種改良と繁殖 1-③育苗技術の実際と応用 1-⑥企業による苗生産・苗販売 1-⑦企業の苗生産の実際	○野菜の流通の実際を学び、成果物の鮮度を保持する技術やその仕組み、また野菜の鮮度が落ちる仕組みについて理解できる。 ○野菜の流通にかかわる様々な技術に興味を持ち主体的に学び知識を深めることができる	○	○		6
	定期考査			○	○		1
3 学期	第4章果実実験を利用する野菜の栽培 ⑧ イチゴ ○代表的な果実を利用する野菜の栽培方法について座学を通して基礎知識を身に付け、実際の栽培を通して実践的な技術を体験的に身に付ける	○果実を利用する野菜の栽培 ⑧ イチゴ	○各野菜の特徴とその産業の現状と動向に関する基礎的な知識を身に付け野菜栽培の社会的な役割を理解している ○野菜のもつ生育の特性を理解しそれぞれに合った栽培法やその原理について理解している。 ○野菜栽培の実際に興味・関心を持ち積極的に実習に参加しその内容を正確に記録している。	○	○	○	6
	第4章果実実験を利用する野菜の栽培 ⑦ カボチャ ○代表的な果実を利用する野菜の栽培方法について座学を通して基礎知識を身に付け、実際の栽培を通して実践的な技術を体験的に身に付ける	○果実を利用する野菜の栽培 ⑦ カボチャ	○各野菜の特徴とその産業の現状と動向に関する基礎的な知識を身に付け野菜栽培の社会的な役割を理解している ○野菜のもつ生育の特性を理解しそれぞれに合った栽培法やその原理について理解している。 ○野菜栽培の実際に興味・関心を持ち積極的に実習に参加しその内容を正確に記録している。	○	○		6
	第5章花や花茎を利用する野菜 ⑦ネギ 付録①バジル 代表的な花や花茎を利用する野菜の栽培方法について座学を通して基礎知識を身に付け、実際の栽培を通して実践的な技術を体験的に身に付ける	○葉や花茎を利用する野菜の栽培 ⑦ ネギ 付録 ①バジル		○	○		8
3 学期	第7章野菜の流通と鮮度保持 2 加工業務用野菜 ○野菜の流通と経営改善について農家の経営に関する様々な知識を学び、実際の農業にかかる労力や費用について実習を通して体験的に理解する。	○野菜の流通と経営改善 2加工業務用野菜 ①加工業務用野菜の現状 ②加工業務用野菜の特徴 ③加工業務用野菜の生産販売					3
	第5章花や花茎を利用する野菜 付録④あすぱがs 代表的な花や花茎を利用する野菜の栽培方法について座学を通して基礎知識を身に付け、実際の栽培を通して実践的な技術を体験的に身に付ける	○葉や花茎を利用する野菜の栽培 付録 ④アスパガス	○各野菜の特徴とその産業の現状と動向に関する基礎的な知識を身に付け野菜栽培の社会的な役割を理解している ○野菜のもつ生育の特性を理解しそれぞれに合った栽培法やその原理について理解している。 ○野菜栽培の実際に興味・関心を持ち積極的に実習に参加しその内容を正確に記録している。	○	○		4
	定期考査			○	○		1
						合計	70



高等学校 令和6年度(3学年用) 教科 農業 科目 園芸利用Ⅲ

教科： 農業 科目： 園芸利用Ⅲ 単位数： 単位  
 対象学年組：第 3 学年 F 組～ 組  
 教科担当者：(F組：石井 陽次 (組： ) (組： ) (組： ) (組： ) (組： ) )  
 使用教科書：(なし )

教科 農業 の目標：  
 【知識及び技能】 草花および野菜の栽培と食品の製造に関する知識、技術の理解と定着を深めるとともに、目的や状況に応じた実際の場面において適切に運用、活用できる技能を身に付けるようにする。  
 【思考力、判断力、表現力等】 草花および野菜の栽培と食品の製造の知識や技術を実際の場面において状況や状態を適切に判断して柔軟な思考力を持って対応することができる力を養う。  
 【学びに向かう力、人間性等】 課題の解決に向け、探求的かつ意欲的な態度で自ら考え行動し、適応していく力、コミュニケーション能力、協調性、勤労意欲、チャレンジ精神などを主体的に図ろうとする態度を養う。

科目 園芸利用Ⅲ の目標：	
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】
・草花分野に関する知識、技術の理解と定着を目標とし、基礎的な栽培管理技術を身に付ける。	・草花に関する実習において、作業効率の向上を目指し、試行錯誤するなど、柔軟に対応する力を身に付ける。 適切な文章や作図を用いて、自身の作業記録を示す力を身に付ける。
【学びに向かう力、人間性等】	【主体的に学習に取り組む態度】
	・主体的に農作業に取り組み、生命を大切に扱う感性や、作物の栽培に

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	意	配当 時数
1 学期	【知識及び技能】 春まき一年草の種類と特徴を理解し、種子の大きさと発芽特性に応じて播種及び鉢上げ作業をすること。 【思考力、判断力、表現力等】 種子の大きさと発芽特性に応じて播種方法を検討すること。 【学びに向かう力、人間性等】 種子袋から、植物にあった播種・育苗方法をとらえること。	1. 花壇用草花生産の特色 (2) 花壇用草花の種類 3. 花壇用草花の栽培 (7) その他の花壇用草花 ニチニチソウ・マリゴール ド	【知識・技能】 春まき一年草の種類と特徴を理解し、種子の大きさと発芽特性に応じて播種作業をすることができるか。 【思考・判断・表現】 種子の大きさと発芽特性に応じて播種方法を検討することができるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 自ら実習に取り組もうとしているか。自分の作業を振り返り、反省点を挙げて改善しようとして取り組んでいるか。	○	○	○	8
	【知識及び技能】 草花の特徴を抑え、適切な定植作業を行うこと。 【思考力、判断力、表現力等】 草花の特徴を踏まえたうえで花壇のデザインを設計すること。 【学びに向かう力、人間性等】 草花の特性や三宅島らしさを踏まえ、創造的な花壇設計を行うこと。	1. 草花の多面的利用 (1) 草花利用の意義 (2) 草花の利用 2. 園芸デザイン (1) 園芸デザインと草花の装飾的特徴 (2) 園芸デザインの基本 (3) 園芸デザインの実際	【知識・技能】 花壇設計において、草花の特徴を抑えてデザインすることができるか。 【思考・判断・表現】 草花の高さや色合いなどの特徴を踏まえ、花壇のデザインすることができるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 グループで協力して作業を行うことができるか。 レポート課題を期限以内に提出できているか。	○	○	○	8
	【知識及び技能】 野菜や果物の消費と動向について現代社会の変化を意識しながら体験的に理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 植物の栽培にとって効率的な良い作業を自主的に考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 農業を取り巻く産業の動きについて主体的に調べることができる。	1. 植物の栽培 パッションフルーツ、キュウリ、オクラ、ポップコーン、クリの栽培管理	【知識・技能】 臨芽取りや誘引、収穫など、植物に応じた管理作業をすることができるか。 【思考・判断・表現】 植物の栽培にとって効率的な良い作業を自主的に考えることができるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 グループで協力して作業を行うことができるか。 レポート課題を期限以内に提出できているか。	○	○	○	12
2 学期	【知識及び技能】 秋まき一年草の種類と特徴を理解し、種子の大きさと発芽特性に応じて播種及び鉢上げ作業をすること。 【思考力、判断力、表現力等】 種子の大きさと発芽特性に応じて播種方法を検討すること。 【学びに向かう力、人間性等】 種子袋から、植物にあった播種・育苗方法をとらえること。	花壇用草花の種類 花壇用草花の栽培 ハボタン、ナデシコ、パンジー等	【知識・技能】 秋まき一年草の種類と特徴を理解し、種子の大きさと発芽特性に応じて播種作業をすることができるか。 【思考・判断・表現】 種子の大きさと発芽特性に応じて播種方法を検討することができるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 自ら実習に取り組もうとしているか。自分の作業を振り返り、反省点を挙げて改善しようとして取り組んでいるか。	○	○	○	12
	【知識及び技能】 草花の特徴を抑え、適切な定植作業を行うこと。 【思考力、判断力、表現力等】 草花の特徴を踏まえたうえで花壇のデザインを設計すること。 【学びに向かう力、人間性等】 草花の特性や三宅島らしさを踏まえ、創造的な花壇設計を行うこと。	1. 草花の多面的利用 (1) 草花利用の意義 (2) 草花の利用 2. 園芸デザイン (1) 園芸デザインと草花の装飾的特徴 (2) 園芸デザインの基本 (3) 園芸デザインの実際	【知識・技能】 花壇設計において、草花の特徴を抑えてデザインすることができるか。 【思考・判断・表現】 草花の高さや色合いなどの特徴を踏まえ、花壇のデザインすることができるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 グループで協力して作業を行うことができるか。 レポート課題を期限以内に提出できているか。	○	○	○	8
	【知識及び技能】 野菜や果物の消費と動向について現代社会の変化を意識しながら体験的に理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 植物の栽培にとって効率的な良い作業を自主的に考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 農業を取り巻く産業の動きについて主体的に調べることができる。	1. 植物の栽培 パッションフルーツ、クリ、ダイコン、ハクサイ、ブロッコリーの栽培管理	【知識・技能】 臨芽取りや誘引、収穫など、植物に応じた管理作業をすることができるか。 【思考・判断・表現】 植物の栽培にとって効率的な良い作業を自主的に考えることができるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 グループで協力して作業を行うことができるか。 レポート課題を期限以内に提出できているか。	○	○	○	12
3 学期	【知識及び技能】 秋まき一年草の種類と特徴を理解し、特性に応じて活用すること。 【思考力、判断力、表現力等】 秋まき一年草の種類と特徴に応じて寄せ植えの配置や花壇設計を検討すること。 【学びに向かう力、人間性等】 美観を意識した作業を行うこと。	寄せ植えづくり 花壇定植	【知識・技能】 草花の特徴を抑えて設計し、実際に定植することができるか。 【思考・判断・表現】 草花の高さや色合いなどの特徴を踏まえ、寄せ植えや花壇の設計をすることができるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 グループで協力して作業を行うことができるか。 レポート課題を期限以内に提出できているか。	○	○	○	10
							合計
							70

高等学校 令和6年度(3学年用) 教科 農業 科目 園芸利用Ⅳ

教科：農業 科目：園芸利用Ⅳ 単位数：2 単位  
 対象学年組：第3学年 F組～組  
 教科担当：(F組：荒城新) (組：) (組：) (組：) (組：)  
 使用教科書：(なし)

教科 農業 の目標：  
 【知識及び技能】 草花および野菜の栽培と食品の製造に関する知識、技術の理解と定着を深めるとともに、目的や状況に応じた実際の場面において適切に運用できる技能を身に付ける。  
 【思考力、判断力、表現力等】 草花および野菜の栽培と食品の製造の知識や技術を実際の場面において状況や状態を適切に判断して柔軟な思考力を持って対応することができる力を養う。  
 【学びに向かう力、人間性等】 課題の解決に向け、探求的かつ意欲的な態度で自ら考え行動し、適応していく力、コミュニケーション能力、協調性、勤労意欲、チャレンジ精神などを主体的に図ろうとする態度を養う。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・食品分野に関する知識、技術の理解と定着を実習場面を介して深化させる技能を身に付けている。	・食品に関する実習を行うに際して、工程の中で柔軟な思考力、判断力、表現力を持って対応している。	・課題の解決に向け、探求的かつ意欲的な態度で自ら考え行動し、適応していく力、コミュニケーション能力、協調性、勤労意欲、チャレンジ精神などを主体的に図ろうとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<ul style="list-style-type: none"> <li>食品製造の目的を学ぶことで、食品製造と調理の違いを理解できるようにする。</li> <li>食生活をめめた生活文化の変化により、消費者のニーズも変化し、これに合わせた加工食品の製造が進んだことを理解できるようにする。</li> <li>食品産業が常に解決し続けなければならない問題に、安全性の確保、環境問題、原料の安定供給があることを理解できるようにする。</li> </ul>	食品製造の意義	【知識・技能】 ・食品製造の意義、食品産業の現状と動向に関する基礎的な知識を身に付けて、食品産業の社会的な役割について理解している。 【思考・判断・表現】 ・食品製造の意義、食品産業の現状と動向に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、その態度や結果を適切に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・食品製造の意義、食品産業の現状と動向について興味・関心を持ち、食品産業の社会的な役割と暮らしとの関わりについて探究しようとしている。	○	○	○	2
<ul style="list-style-type: none"> <li>お茶の加工の原理と、お茶の製造の製造工程を理解できるようにする。</li> <li>チャの栽培管理ができる。</li> <li>紅茶の製造工程を理解し、製造できるようにする。</li> </ul>	日本茶について 紅茶について	【知識・技能】 ・原材料としての農産物の特徴、及び農産物の加工食品の基本的な製造過程と原理を知識として習得し、農産物に付加価値をつけて流通していることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・農産物を原料とした加工食品の製造方法を踏まえ、地域の農産物の特徴を生かした加工食品を製造するプランを立てられる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・原材料を農産物とした加工食品の製造に関心を持ち、原材料の特徴を生かし、衛生管理と倫理観にもとづいた食品製造を行う意欲・態度を身に付けている。	○	○	○	10
<ul style="list-style-type: none"> <li>加工食品の原料としての穀類の種類と特徴を理解できるようにする。</li> <li>小麦粉の加工の原理と、クッキー、マドレーヌの製造工程を理解できるようにする。</li> <li>原材料の特徴を理解し、クッキー、マドレーヌの製造を行うことができる。</li> </ul>	穀類の加工 【クッキーの製造】 【マドレーヌの製造】	【知識・技能】 ・原材料としての農産物の特徴、及び農産物の加工食品の基本的な製造過程と原理を知識として習得し、農産物に付加価値をつけて流通していることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・農産物を原料とした加工食品の製造方法を踏まえ、地域の農産物の特徴を生かした加工食品を製造するプランを立てられる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・原材料を農産物とした加工食品の製造に関心を持ち、原材料の特徴を生かし、衛生管理と倫理観にもとづいた食品製造を行う意欲・態度を身に付けている。	○	○	○	8
<ul style="list-style-type: none"> <li>加工食品の原料としての豆類の特徴と種類を理解させる。</li> <li>果実類の代表的な加工食品である、ジャム、ジュース、缶詰および乾燥果実の製造方法と理論を理解させる。微を理解できるようにする。</li> <li>豆類の代表的な加工食品である、豆腐の製造方法と理論を理解させる。特徴を理解できるようにする。</li> <li>原材料の特徴を理解し、ジャムの製造を行うことができる。</li> </ul>	園芸加工 【ジャムの製造】 【豆腐の製造】	【知識・技能】 ・原材料としての農産物の特徴、及び農産物の加工食品の基本的な製造過程と原理を知識として習得し、農産物に付加価値をつけて流通していることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・農産物を原料とした加工食品の製造方法を踏まえ、地域の農産物の特徴を生かした加工食品を製造するプランを立てられる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・原材料を農産物とした加工食品の製造に関心を持ち、原材料の特徴を生かし、衛生管理と倫理観にもとづいた食品製造を行う意欲・態度を身に付けている。	○	○	○	12
<ul style="list-style-type: none"> <li>加工食品の原料としての穀類の種類と特徴を理解できるようにする。</li> <li>小麦粉の加工の原理と、バウムクーヘン、スポンジの製造工程を理解できるようにする。</li> <li>原材料の特徴を理解し、丸バウムクーヘン、スポンジの製造を行うことができる。</li> <li>デコレーションケーキのデザインの考え方を理解し、デザインができるようにする。</li> </ul>	穀類加工 【バウムクーヘンの製造】 【デコレーションケーキの製造】	【知識・技能】 ・原材料としての農産物の特徴、及び農産物の加工食品の基本的な製造過程と原理を知識として習得し、農産物に付加価値をつけて流通していることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・農産物を原料とした加工食品の製造方法を踏まえ、地域の農産物の特徴を生かした加工食品を製造するプランを立てられる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・原材料を農産物とした加工食品の製造に関心を持ち、原材料の特徴を生かし、衛生管理と倫理観にもとづいた食品製造を行う意欲・態度を身に付けている。	○	○	○	14
<ul style="list-style-type: none"> <li>お茶の加工の原理と、お茶の製造の製造工程を理解できるようにする。</li> <li>チャの栽培管理ができる。</li> </ul>	日本茶について	【知識・技能】 ・原材料としての農産物の特徴、及び農産物の加工食品の基本的な製造過程と原理を知識として習得し、農産物に付加価値をつけて流通していることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・農産物を原料とした加工食品の製造方法を踏まえ、地域の農産物の特徴を生かした加工食品を製造するプランを立てられる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・原材料を農産物とした加工食品の製造に関心を持ち、原材料の特徴を生かし、衛生管理と倫理観にもとづいた食品製造を行う意欲・態度を身に付けている。	○	○	○	6
<ul style="list-style-type: none"> <li>加工食品の原料としての穀類の種類と特徴を理解できるようにする。</li> <li>小麦粉の加工の原理と、シュークリーム、シフォンケーキの製造工程を理解できるようにする。</li> <li>原材料の特徴を理解し、シュークリーム、シフォンケーキの製造を行うことができる。</li> </ul>	穀類加工 【シュークリームの製造】 【シフォンケーキの製造】	【知識・技能】 ・原材料としての農産物の特徴、及び農産物の加工食品の基本的な製造過程と原理を知識として習得し、農産物に付加価値をつけて流通していることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・農産物を原料とした加工食品の製造方法を踏まえ、地域の農産物の特徴を生かした加工食品を製造するプランを立てられる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・原材料を農産物とした加工食品の製造に関心を持ち、原材料の特徴を生かし、衛生管理と倫理観にもとづいた食品製造を行う意欲・態度を身に付けている。	○	○	○	8
<ul style="list-style-type: none"> <li>果実類の代表的な加工食品である、ジャム、ジュース、缶詰および乾燥果実の製造方法と理論を理解させる。微を理解できるようにする。</li> <li>原材料の特徴を理解し、ジャムの製造を行うことができる。</li> </ul>	園芸加工 【ジャムの製造】	【知識・技能】 ・原材料としての農産物の特徴、及び農産物の加工食品の基本的な製造過程と原理を知識として習得し、農産物に付加価値をつけて流通していることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・農産物を原料とした加工食品の製造方法を踏まえ、地域の農産物の特徴を生かした加工食品を製造するプランを立てられる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・原材料を農産物とした加工食品の製造に関心を持ち、原材料の特徴を生かし、衛生管理と倫理観にもとづいた食品製造を行う意欲・態度を身に付けている。	○	○	○	2
<ul style="list-style-type: none"> <li>加工食品の原料としての豆類の特徴と種類を理解させる。</li> <li>アズキを使用した製菓の製造方法と理論を理解させる。</li> <li>餡を使用した加工食品である、ようかん、どらやきの製造方法と理論を理解させる。特徴を理解できるようにする。</li> <li>豆類の代表的な加工食品である、豆腐の製造方法と理論を理解させる。特徴を理解できるようにする。</li> </ul>	園芸加工 【餡の製造】 【ようかんの製造】 【どらやきの製造】	【知識・技能】 ・原材料としての農産物の特徴、及び農産物の加工食品の基本的な製造過程と原理を知識として習得し、農産物に付加価値をつけて流通していることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・農産物を原料とした加工食品の製造方法を踏まえ、地域の農産物の特徴を生かした加工食品を製造するプランを立てられる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・原材料を農産物とした加工食品の製造に関心を持ち、原材料の特徴を生かし、衛生管理と倫理観にもとづいた食品製造を行う意欲・態度を身に付けている。	○	○	○	8
合計						70



三宅 高等学校 令和6年度（2学年用） 教科 家庭 科目 保育基礎

教科： 家庭 科目： 保育基礎 単位数： 4 単位

対象学年組： 第 3 学年 普通科1名 併合科1名

教科担当者： 山田祥吾

使用教科書：（ フードデザイン （教育図書） ）

教科 家庭

の目標：

【知識及び技能】

人間の将来にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活を主体的に営むために必要な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。

科目 保育基礎

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
保育に関する基礎的・基本的な技術を総合的に身につけている。子どもの発達と生活と保育に関する知識を総合的に身につけている。	子どもの発達や保育に関わる現状について理解を深めた上で課題を見つけ、その解決をめざして思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身につけている。	子どもの発達や保育への関心を持ち、意欲的に学習に取り組み、子どもの健やかな発達や保育に寄与していこうとする実践的な態度を身につけている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学期	1章 子どもの保育 ○保育の意義と重要性について、幼稚園教育要領や保育所保育指針を取り上げながら扱い、保育が人間形成にどのようにかわるかを考える。 ○保育者にはどのような資質が求められるか、またそれを身につけるにはどのようにしたらよいかなど、保育者観についての考察を深める。 ○家庭での保育の現状や、幼児教育・保育の場（幼稚園や保育所、認定こども園など）の保育環境の特徴や役割を理解する。 ○子どもを取り巻く社会環境の変化や今後の保育の課題について理解し、子どもの健やかな発達のために適切な保育環境について考察する。	1章 子どもの保育 1節 保育の意義 1 保育とは 2 保育の意義 2節 保育の方法 1 保育者の役割とは 2 一人ひとりに合わせた指導 3節 保育の環境 1 家庭での保育 2 幼児教育・保育の場 3 子どもが育つ環境の変化と課題	【知識・技能】 ○保育者の役割を理解し、その資質や能力を身につけるにはどのような点に気をつけていけばよいかなど、考察ができる。 発達時期の特性を考慮した保育の工夫が必要であることを理解している。 ○胎児の生育環境である母体に対する関心と課題意識を高めている。乳幼児の身体的特徴と生理的特徴及びその変化に関する知識を身につけている。 ○子どもの心の発達の特徴と発達の経過について理解している。 ○人間関係の発達については乳児期の愛着の発達が重要であり、安全基地を土台として人間関係が広がっていくことを理解している。	○	○	○	14
	2章 子どもの発達 ○乳幼児期は人の発育・発達において大切な時期であり、共通性や個性といった特性があることを理解する。 ○乳幼児期の身体的特徴と生理的特徴をとらえ、新生児期～乳幼児期へと続く人の発達の過程を理解する。 ○心の発達の土台として大切な愛着関係の形成過程について学び、親子関係の形成と人間関係のひろがりについて考える。 ○知的発達、言葉の発達、社会性・情緒など様々な側面から、子どもの心の発達をとらえる。 ○誕生～乳児期・幼児期の発達の過程を、それぞれの月齢・年齢ごとの発達に沿った子どもの姿を通して理解する。	2章 子どもの発達 1節 子どもの発達の特性 1 発達と保育 2 発達の共通性と個性 2節 子どものからだの発達 1 発育・発達の評価 2 身体的特徴 3 生理的特徴 3節 子どもの心の発達 1 社会・情緒的な発達 2 知的発達 3 言葉の発達 特集 月齢、年齢別の発育・発達	【思考・判断・表現】 ○子どもを取り巻く環境が子どもの発達に大きな影響を与えることを理解し、発達段階における発達課題に応じて、接し方・援助の仕方・適切な保育環境整備について述べている。 ○それぞれの月齢・年齢ごとの身体的・生理的特徴に関心を持ち、保育に関連づけて考察することができる。	○	○	○	16
2 学期	3章 子どもの生活 ○子どもが心身の健康を保つための保育の技術を身につける。 ○乳幼児期の栄養や食事（乳汁栄養や離乳食、幼児食など）の特徴を実習を通して理解する。 ○子どもの衣生活と育児用品について、身体特徴をふまえ、安全で快適に生活するために何が必要か選択できる。 ○基本的な生活習慣と社会的な生活習慣の意義と重要性を理解し、子どもの発達に即した適切な生活習慣とその援助について考察する。 ○子どもの健康管理や事故防止について、健康状態の観察のポイントや予防接種、事故の実態や原因などを理解する。 ○子どもの事故防止や安全な環境整備にはどのような配慮や準備が必要か具体的事例とあわせて理解する。	3章 子どもの生活 1節 子どもの生活と養護 1 生活と健康 2 栄養と食事 3 衣生活 2節 生活習慣の形成 1 子どもの生活習慣 2 基本的な生活習慣 3 社会的な生活習慣 3節 健康管理と事故防止 1 子どもの健康管理 2 事故の防止と応急処置	【知識・技能】 ○子どもの食生活や衣生活について子どもの健康的な生活を支える保育の基礎的な技術を身につけている。 ○子どもの健康状態を見るときポイントや病気の特徴、予防接種について理解している。 ○遊びを通じて子どもが豊かに発達することについて理解している。 ○子どもの発達や特性をふまえた上で、子どもの遊具等の作成に取り組み、子どもの遊びや表現活動に関連する技術を身につけている。	○	○	○	18
			【思考・判断・表現】 ○子どもが生活習慣を身につけるための援助の方法について思考を深めている。 ○子どもにおこりやすい事故を予測し、その対策を考えることができる。 ○子どもの文化の意義を理解し、それらの役				

	<p>4章 子どもの文化 ○絵本や遊び、歌などの児童文化財や児童館などの子どもの文化を支える場が、子どもの健やかな発達とどのような関わりを持つか、その意義について理解する。 ○子どもの遊びと遊具や表現活動の意義や重要性などを、具体的に遊具等を作るなどの活動を通じて理解する。 ○遊びにおける保育者からの働きかけを考え、遊びの援助ができるようにする。</p>	<p>4章 子どもの文化 1節 子どもの文化の意義と支える場 1 子どもの文化 2 子どもの文化を支える場 2節 子どもの遊びと表現活動 1 遊びと発達 2 遊びと表現活動</p>	<p>割や今後の課題について考察することができる。  【主体的に学習に取り組む態度】 ○子どもの発達や保育への関心を持ち、意欲的に学習に取り組み、子どもの健やかな発達や保育に寄与していこうとする実践的な態度を身につけている。 ○子どもの生活に関心を持ち、主体的に子どもの生活を理解しようとしている</p>	○	○	○	16
3 学 期	<p>5章 子どもの福祉 ○子ども観は国や地域、時代によって変化していることを理解する。 ○時代の変化と共に子どもが権利の主体として尊重する考え方が世界で共有されつつあることを理解する。 ○子どもの福祉に関心を持ち、児童福祉の理念や法律と制度について理解する。 ○児童憲章や児童の権利に関する条約を通して児童福祉の基本的な考え方を理解し、子どもの幸せとは何かを考える。 ○子どもを地域や社会で支える子育て支援の具体的な場や制度について理解する。また、子育て支援の今後の課題と展望について考察する。</p>	<p>5章 子どもの福祉 1節 子ども観 1 子ども観の変遷 2 権利の主体としての子どもへ 2節 子どもの福祉 1 児童福祉 2 子どもをとりまく課題と対策 3 子どもが育つ社会環境 3節 子育て支援 1 子育て支援からパートナーシップへ 2 社会的養護 3 地域の子育て支援</p>	<p>【知識・技能】。 ○子ども観の変遷や、権利の主体として尊重されつつある状況を理解している。 【思考・判断・表現】 ○子どもの文化の意義を理解し、それらの役割や今後の課題について考察することができる。 ○児童福祉の基本的な考え方について理解し、子どもの幸福について自分の意見や考えをまとめることができる。 ○児童虐待の現状と対策について自分の考えを述べている。 ○子育ての現状をふまえて、これからの子育て支援を考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○子どもの発達や保育への関心を持ち、意欲的に学習に取り組み、子どもの健やかな発達や保育に寄与していこうとする実践的な態度を身につけている。 ○子どもの生活に関心を持ち、主体的に子どもの生活を理解しようとしている</p>	○	○	○	6
							合計
							70

